

第8号（1）様式

外交・安全保障調査研究事業費補助金
補助事業実績報告書

※本報告書のほか、事業成果をアピールする資料（パワーポイントや動画等自由書式。最大3枚/3分程度）を提出すること。

（※当該資料は、単なる活動報告にしないこと。事業の新規性、研究成果によって得られた新たな知見及びそれに基づく政府へのアウトプット・提言等、事業成果について記載すること。）

1. 基本情報	
事業者名 東京大学先端科学技術研究センター	
事業区分・テーマ	※事業区分（発展型総合事業・総合事業・調査研究事業）及びテーマを記載。 総合事業「自由民主主義秩序を支える情報プラットフォームの構築」
事業名及び事業概要	※事業計画書の該当部分を転載。 内と外から自由・民主主義が揺るがされる中で、自由・民主主義の意義を再検討し、選択肢として「選び直す」ために、信頼性の高い情報を収集・分析し、公開・発信していくプラットフォームを構築する。自由・民主主義諸国の体制と政策の実態と可能性を裏付けるデータを歴史学と実証政治学の双方から導出・検証し、『インド太平洋の自由と民主主義』年報として配信し自由・民主主義秩序を支える日本外交の取り組みを支援する。
事業実施期間	※下記の期間から1つを選択し「○」を記入 () 1年間 (年度) () 2年間 (年度～ 年度) (うち 年目) (○) 3年間 (令和5年度～7年度) (うち 1 年目)

2 事業の成果（アウトカム）

評価要綱3の項目につき、以下①、②の自己評価を記載すること（分量は自由）。

（※ 活動実績の詳細や定量的実績は下記「3－1」～「4－2」の欄に記載すること。）

① どのように取り組み、どのような成果があったか（工夫を凝らした点、前年度の事業から改善した点を含む）。

② どの部分につき進展・成果が不十分であったか。その原因、次年度での改善方法。

（1）補助事業の成果

（基礎的情報収集・調査研究（外交に資する政策志向の研究とし、政策提言を含む。）

- 他の類似事業と比べて新規性があったか。研究成果により新たな知見が得られたか。また、外交に資する政策志向の研究がなされたか。

① 本事業は、日本がその一翼を担う自由・民主主義を基本原理とする既存の国際秩序に対する内側及び外側からの挑戦とそれによる揺らぎ、そして自由・民主主義の理念と制度を再確認・再確立するための理論的・制度的な支えを提示することを目的とする。この目的を達成するために、本事業では3つの分科会を組織し、さらにより機動的かつタイムリーな活動を行うために3つのタスクフォースを設定した。これらの6つの分科会・タスクフォースによって得られた知見とその新規性を以下に列挙する。下記の諸項目の前提として、本事業の他の類似事業と比べての根本的な特色は、本事業は同時に採択された二つの発展的総合事業と統合的に企画・立案・実施され、それらを実施する要員として、外交・安全保障に関わる国際政治学や地域研究の一定の学術実績を有する若手研究員を採用し、次世代の育成を行いながら最新の知見を取り入れて調査研究を進めていることである。

分科会「自由・民主主義の動揺と再編」は、2024年に行われるアメリカ大統領選挙を見据えて分科会組織を組成し、活動を開始した。初年度前半は、アメリカ政治を理解するための基礎研究において、機密文書とその公開をめぐる研究動向を把握した。依然として共和党の候補者の一人でもあるドナルド・トランプ氏をめぐる、その政権の機密文書の保存・公開に係る問題に着目し、「アメリカ大統領と公文書」をテーマに、分科会委員の高橋慶吉教授（大阪大学）に加え、山口航講師（帝京大学）、田中慎吾准教授（大阪経済法科大学）を発表者として招へいし、研究会を実施した。次期大統領選挙にも直結したアメリカ政治の制度と過程に関する実証的な研究を積み重ねることで、2024年の大統領選挙のリアルタイムでの分析を裏打ちすることを目指している。今年度の後半に予定していた、

若手研究者による最新のアメリカ国内政治について検討する研究会の開催は次年度に持ち越しとなったが、次年度にアメリカ現地で大統領選挙の取材・調査をする人物の人选・手配を進めたほか、夏から本格化する本選挙の動きと、選挙結果がもたらすインパクトを検討する公開セミナーの準備を進めるなど、2024年度のアメリカ大統領選挙分析の体制を整えることができた。

分科会「戦後日本外交の歴史的研究」は、日米同盟の歴史を中心に、戦後日本政治外交の基礎研究を進め、自由・民主主義陣営の中軸としての戦後日本・日米関係の役割を内外に示すことを目標としている。本年度は分科会の立ち上げを行い、まず日本の外交・安全保障政策の原点となった1950年代を集中的に研究の対象としつつ、3年にわたる活動計画を策定するため特に地方を拠点とした若手や女性の研究者の関与を求め、日本各地で予備的会合を重ねた。その結果、1950年代の日米関係を、日米安保、再軍備、沖縄問題、憲法問題と、さまざまな切り口で研究している地方在住者や女性を含む、若手中心の研究会の組織化に成功した。初年度において、創設メンバーの研究報告会合を実施したほか、2024年1月には、福岡・九州大学で、日米安保体制がどのようにして形成されたのかの、最新の外交史研究の成果を英語で発表する外交史ワークショップを実施した。同ワークショップは最新の外交史研究の知見を検討する場となっただけでなく、聴衆が日本への留学生が中心であったこともあり、日本の安全保障政策、その原点についての理解を海外の人々に広める意味でも意義深いものであった。また、歴史的資料の収集・整理・公開を、外交史だけでなく政治史の面から促進する新たなプロジェクトの立ち上げを進め、2024年度から本格的な活動を開始するための準備を行なった。「シンクタンクにおける政策志向の外交史研究」という新基軸の確立に向けて、着実に歩みを進め、その意義の発信に努めている。

分科会「非・自由主義的な民主主義の体制と国際関係」は、西欧型の自由民主主義とは異なる民主主義国家、特にインド太平洋地域における様々な種類の民主主義の発展に着目し、体制の相違や変動が各国及び地域の外交に及ぼす影響の把握を進めている。ASEAN諸国の民主主義およびその一部に見られる非自由主義化、それが各国の外交政策や国際陣営への帰属に及ぼす影響を主要な課題とした研究ユニットの組織化を進め、大庭三枝・神奈川大学教授を座長に招請した。さらに竹中治堅・政策研究大学院大学教授を座長とした研究ユニットを組織し、米国による各国の民主化支援政策の最新動向の調査を行いつつ、それとの連関で東南アジア・南アジアの民主化、および自由化と非自由化の輻輳するダイナミズムに関して、比較政治学の手法で調査研究を開始しつつある。米国主導の比較政治

学・比較民主化論と、アジア諸国の比較政治学を連動させた調査研究の新地平を開くべく、竹中・大庭両座長と、本事業統括の池内恵教授が打ち合わせを重ねて、年度末までの複数の研究ユニットの確立と、2024年度初頭の大規模国際会議の計画を進めている。

タスクフォース「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」は、ロシアからの反自由主義・反民主主義的な影響力工作や軍事的脅威に直面する、中東欧・バルカン諸国に焦点を絞り、冷戦期の歴史的な背景も視野に入れ「東欧、中・東欧、バルカン諸国」と対象を定義して、これらの諸国におけるロシア・ウクライナ戦争の影響や内部の政治体制の変容を分析することを目的としている。東野篤子座長のイニシアティブにより、早期にメンバー構成が固まり、オンラインでの研究会を重ねた上で、11月初頭に対面・オンライン併用のシンポジウム「ロシアによるウクライナ侵略と『ヨーロッパの東』」を開催し、オンラインで600名以上の事前登録があるなど大きな反響を呼んだ。研究メンバーによる最新の知見を発表、議論する研究会合を複数回実施および計画し、西欧とロシアの間、自由・民主主義陣営と権威主義陣営の間に位置する「東欧、中・東欧、バルカン諸国」に対する戦略的関与のための基礎研究を提供しつつある。2024年2月には、主要メンバーによるエストニア訪問団を組織。ロシアと国境を接し、人口の4分の1のロシア系住民を抱えるこの国の安全保障政策や住民の統合策を学ぶとともに、対ロ戦略について意見を交換した。17日にエストニアに到着した訪問団は、18日にロシア国境の街ナルヴァを訪れ、当地のタルトゥ大学ナルヴァ校で地元有識者らと計20人あまりによる会合を開いた。ROLES側が日本の安保政策やロシア・ウクライナ戦争に対する日本世論の動向について講演。現地側からはロシア系が87%を占めるこの街独特のウクライナ戦争観、ロシアからのプロパガンダの住民に対する影響などについて説明を受けた。現地で開かれている国際文化行事も訪問し、ロシア側からの宣伝に対して文化が果たす役割について意見を交換した。続いて、19日には同国第2の街タルトゥにあるタルトゥ大学で、政治研究所、アジアセンター、ウクライナセンターと合同のセミナーを開催し、30人あまりが参加した。タルトゥ大学側がエストニアの世論やロシアからの影響への対策について講演し、ROLES側からは日本の状況のほか、中国の台湾政策についても講演した。また、バルト3国がタルトゥに設立しているバルト防衛大学では、日本とバルト3国の安全保障政策について幹部、教授陣と意見を交換したほか、欧州など20カ国から来て学ぶ将校クラスの学生ら数十人を前に、ROLES側が日本や中国の安全保障環境について講演した。首都タルトゥでは20日、国際防衛安全保障センター（ICDS）と合同で、「日本・エストニア戦略対話」を開催。ロシア・ウクライナ戦争に対する両国の政策と連携の可能性について協議をした。ま

た、同センターの Kristi Raik 副所長、同センタージャパンチェアの Elena Atanassova-Cornelis 博士とも個別に会合を持ち、今後の協力について話し合った。21 日には、タリン大学で ROLES の川島真・東大教授が中国の台湾政策に関して公開講座を開催し、日本の立場を説明。エストニア外務省では、訪問団の一部が高官から、EU の対東欧、対コーカサス政策に関するブリーフを受けた。また、タリンでは、歴史認識に関する研究を進める歴史記憶研究所と、ソ連とナチスドイツによる占領時代の資料を集めた「VABAMU 占領博物館」も訪問し、何度も占領を受けつつ独立を回復した同国の複雑な歴史事情と安全保障との関連について意見を交換した。松浦大使をはじめとする在タリン日本大使館とも、複数回にわたり意見交換を重ねた。タルトゥ大学とはその直後からフォローアップの企画開催を進めており、アジアに関する共同ウェビナーを 5 月にも開催する予定。

タスクフォース「自由・民主主義分析の実証的方法と応用」は、自由・民主主義体制を、ポピュリズムによってそれを内側から脅かす脅威に特に着目し、実証政治学による定量的分析や比較政治分析の手法を導入して分析する活動を行なった。初年度は特に「党派性に動機づけられた推論 (partisans motivated reasoning; PMR)」という概念に着目した世論調査を実施し、関係データの収集・蓄積を行ない、「党派性」および「認知の歪み」が投票行動に及ぼす影響を考察し、自由・民主主義体制の内側からの揺らぎをもたらす要因を検討する、複数の論説 (ROLES REPORT) を作成・公表した。また、7 月に京都でタイの総選挙を題材に、非西側世界における自由民主主義のあり方を考える国際セミナーを開催し、チュラロンコーン大学およびタマサート大学から、タイの民主化運動・議会政治を主導する経験を有する、二つの世代にわたる有力政治学者を招聘した。このフォローアップとして、2024 年 2 月には、総選挙後のタイ政治を考える国際セミナーを開催するなど、国際的な広がりのある活動を実施した。

タスクフォース「言説空間分析の文理横断的方法と応用」は、自由・民主主義の内なる動揺や、それを外部の権威主義体制諸国が関与して増幅する「認知領域をめぐる闘争」を主要な課題として、新領域安全保障の最新の研究成果を研究者・実務家の双方の知見を持ち寄って検討し、その際には官・民の現場でサイバーや認知戦に携わる実務家からも知見を聴取するなど、「認知領域」における最先端の知見を集約する研究会を組織することができた。

さらに、外交・安全保障問題に対する日本国民の認識を定期的に把握する世論調査を実施・研究する枠組みとして、タスクフォース「言説空間分析の文理横断的方法と応用」内にサブユニット「世論調査プロジェクト」を立ち上げた。これまで外交・安全保障問題に

についての世論調査は、新聞社や政府機関などによって不定期に、その時々、の政治的課題や政局にもしばしば結び付けられて実施されてきたが、定期的で中立的な調査は必ずしも重視されてこなかった。もしこうした調査が継続的に実施できれば、日本人の外交・安全保障問題への認識の変化を読み解くことができ、学術上のみならず政策上のインパクトも大きいと考える。本サブユニットは、そうした現状と問題認識に基づき、継続的に中立的な世論調査を実施する体制を作ることを目指している。まずは、2024年2月にパイロット調査を実施した。調査結果の一部は研究メンバーによって海外にも紹介され、その反響も含め、現在、本調査の質問内容を検討している。最終的に24年度の前半に国際的にも通用する質問内容を含んだ本調査を実施することとし、その準備を着々と進めている。

② 初年度であり、本事業と同時に採択された二つの発展型総合事業と連動し統合して効果的・相乗効果を高める形で分科会・タスクフォースの運用を行う体制を整えるのに時間を要したため、分科会「非・自由主義的な民主主義の体制と国際関係」などで立ち上がりが遅れ、中間報告の段階で十分な研究会合の実施には至らなかったものがある。立ち上げと相乗効果のある運営体制の構築に遅れが生じたことの反省を踏まえ、次年度からのより充実した研究・運営体制を整備するため、一部の分科会・タスクフォースを整理・統合することとした。分科会・タスクフォースといった区分を取りやめ、名称を「研究会」に統一し、「非・自由主義的な民主主義の体制と国際関係」を「自由・民主主義分析の実証的方法と応用」に統合し、実証政治学の知見と比較政治・地域分析がより連動できるような体制に再構築した。さらに各研究会同士の連携もより充実させていきたい。

● 事業テーマ及び補助事業者の企画に基づき、情報収集及び調査研究が的確に行われたか。

① 各分科会・タスクフォースで複数回の研究会合を実施し、多様な議論・分析の場を設けているが、本事業では若手や地方拠点の若手研究者が有する最新の知見を吸い上げ、集約することに重点を置いた。分科会「戦後日本外交の歴史的研究」では、戦後日本外交を専門とする大学院生をインターンとして迎え入れるなどして、外交史料の収集・整理の体制を組織化し拡大した。メンバーが収集した戦後日米首脳的重要会談の記録をデジタル化するなど、データの整理と活用可能性の拡張に力を入れた。また、戦後日本外交の研究に欠かせない外部データベースを購入・導入し、従来の政治外交史では捉えきれなかった戦後史の諸側面についての情報を蓄積した。

タスクフォース「自由・民主主義分析の実証的方法と応用」では「党派性に動機づけられた推論」の概念に着目したサーヴェイ実験（世論調査）を実施し、「当派性」および「認知の歪み」が投票行動に及ぼす影響の実証研究を通じて、自由民主主義の制度を内側から揺るがす要因を精査した。また「世論調査プロジェクト」では、日本人の外交・安全保障問題に対する認識を問う世論調査の実施を計画するなど、政治科学の実証的方法論を導入して、従来のメディアや官庁の調査よりも方法論的な裏打ちのある情報収集を実施した。2024 年度以降に、二つの研究会・プロジェクトが実施する世論調査を有機的に繋げることや、他大学・機関との連携が可能となるよう体制を構築するよう準備を進めている。

自由民主主義の現状を分析する研究年報として、「民主主義を取り巻く現在」と題した ROLES の定期刊行物である ROLES Review の Vol.4 を発刊した。これまで WEB 上に発信してきた複数の REPORT を中心に、民主主義の実証的研究の論文を 2 本、自由民主主義の秩序を揺らがせているロシア・ウクライナ戦争とガザの紛争といった国際紛争の諸相についての論文を 6 本、こうした国際情勢の中で日本が直面している政策的課題を整理した論文を 2 本収録した。こうした研究年報を、次年度以降、広く普及させる手筈を整えていくまた、発刊する数を増やすことで、自由民主主義の現状と日本の取るべき道についての分析・政策提言を積極的に行なっていく。

- ② 上記のように、データの蓄積には量的にも、方法論的な質の面でも、大きな進展があったが、その効率的・効果的な公開にはなおも難渋している。年度内にデジタル化した外交史料の整理を急ぎ、日米両国の史料を、日本国内のメディアや研究者、あるいは官庁の実務的作業においても容易にアクセスし使用することができるフォーマットを確立して公開することを目指す。また、収集した情報が外交史に偏りがちとなるきらいもあり、外交史だけでなく、海外からも、英語化を含めた引き合いの高い国内政治史関係の資料の収集を可能とするため、分科会内に新たなサブユニットを 2024 年度から発足させることとした。また、戦後日本の外交官・政治家の私資料を体系的に発掘し利用することが可能になるよう分科会「戦後日本外交の歴史的研究」の体制強化の準備をしている。

またアメリカ大統領選挙やロシア・ウクライナ戦争に関する情報を集約するポータルサイトの実装については、サイトの改修作業が多岐に渡ってしまいポータルサイトの公開そのものは今年度内に実施することが困難となったが、ポータルサイトに掲載すべき情報を収集・整理する作業は進展した。掲載情報は、リアルタイムで起きている

アメリカ大統領選挙の流れや重要なデータ、その時々の論考などを整理したもので、同時代の人々が活用できる資料になるとともに、10年後、20年後の人々が2024年という年を振り返ったとき、その年がいかなる時代であったのかの空気を感じ取ることができる資料となり得るよう編纂した。ポータルサイトは次年度早々に公開出来るよう、準備を早めている。

(機動的かつタイムリーな国内外への発信)

- 海外のシンクタンクの動向も参考に、広報責任者を設置する等の措置を講じて、訴求対象ごとに、発信のタイミング、形式、内容等を工夫し、戦略的な発信に意を用いている。

- ① 本事業を含む、発展型総合事業2、総合事業1の計3事業の広報活動を統括する責任者（松田拓也特任研究員）を置き、刊行物の発行にとどまらず、ウェブサイトや動画配信の積極的な活用、あるいはSNSでの発信など、成果の積極的な発信に専念させる体制を立ち上げた。ROLESの公式ウェブサイトや公式X（旧Twitter）アカウントに加え、個人的に発信力の大きい事業総括の池内恵教授、事業副総括の小泉悠准教授のSNSアカウントも援用し、日本の外交・安全保障政策の自由・民主主義陣営における役割と責務を広く国内と海外に広報することを励行し、各特任研究員・特任助教等の日本語・英語でのメディア出演も励行し、多元的・多面的な情報発信に努めている。

海外シンクタンクの発信の特徴として、近年、文字媒体だけでなく、音声や動画による発信の活発化が見られる。本事業もこの点を参考に、Youtubeチャンネル「ROLES CAST」を用いた動画配信（研究メンバーによる10-30分程度の発信）を、国際情勢の変動に際してタイムリーに実施している。

また、日本語と英語で独自のレポートやコメンタリーを発行し、webサイト上で全て無償公開することにより、研究活動の成果が日本および海外で幅広く参照されるよう配慮している。衛星画像についても、衛星画像ベンダーとの特例契約により、過去のアーカイブ画像を安価に提供してもらうことで高頻度の発信を目指すシリーズを開始することができた。なお、以上の対外発信はROLESおよび研究メンバーのSNSアカウントで宣伝・拡散し、同種のコンテンツにおいて飛躍的な数のビューアーを得ている。

現実政治に大きなインパクトを残したヘンリー・キッシンジャー元国務長官の逝去にあたっては、特集を組む形で複数の追悼論考を発出した。氏が残した正の遺産、負の遺産を多角的に検証し、彼が残した足跡がまさに現在、国際政治で起きている諸問題へと

繋がっていることをこれらの論考を通じて発信した。諸論考は SNS 上で少なからぬ反響を呼んだ。

- ② 動画配信は撮影・編集に時間がかかるため、発信頻度が空くことがあった。今後は 1 本の時間を短くしたり、必ずしも社会的な関心が高くないテーマに取り組む研究員も積極的に発信を試み、例えば自分の研究テーマに関わる写真や動画を見せながらプレゼンをするシリーズを設けるなど、低負担でより頻繁な発信が可能となるよう配慮したい。

刊行物については、デザインや出版作業を研究メンバーで分担して実施してきたが、出版計画が年度の後半にずれ込むなど、研究・事務業務との両立に限界が見られた。そのため、年度半ばに、新たに出版・編集経験者を編集責任者に迎え、出版業務に関する負担を軽減しながら、より高頻度に、完成度の高い成果物発信を目指していく。またアウトリーチ専門の委員会を設置して、成果物を定期的、かつ安定的に発信していく体制を整備した。

- 補助事業者・研究者個人によるインターネット、SNS 等による広報やセミナー・シンポジウムの実施・参加等を通じ、日本の主張・視点の国際社会への発信が機動的・タイムリーかつ積極的になされたか。その結果として国際世論の形成に参画することができたか。

(※活動内容のみではなく、どのような発信が、どのように国際世論の形成への参画につながったかを総括的に記載すること。)

- ① 本事業の実施主体である ROLES は X (旧 Twitter) に独自のアカウントを持ち、日本語・英語で研究成果の発信を行うほか、研究メンバーの個人アカウントによる積極的な発信により、本事業の目標やメンバー構成等の体系的な紹介や、セミナーやシンポジウム、ウェビナー等の開催告知を大規模に行い、大きな社会的反響・参加を得た。本事業の活動状況の広報情報を常時広く社会に拡散するだけでなく、調査研究事業全体の正統性・実効性に関する社会的議論を喚起し、正当あるいは不当な批判に対して臆することなく積極的に論証を行い、大きな反響・効果を得た。 本事業の国際発信としては、タイの総選挙直後に、タイの民主化運動・議会政治において主導的な役割を果たしてきた野党政治家・政治学者を招いて京都で国際セミナーを実施したほか、2024 年 2 月にエストニア訪問団を結成し、エストニアの国際安全保障シンクタンクを舞台にしてロシア・ウクライナ戦争についての国際会議を共催し、前述したような多岐にわたる意見交換をエストニアで実施した。ロシア・東アジアに対して持つ認識に

について日本の主張を発信するとともに、エストニアの見方を吸収する貴重な機会となった。また、同時期に京都では改めて総選挙後のタイ政治についての国際セミナーを実施した。自由・民主主義をめぐる肯定・否定的な潮流が工作する中で、日本の立場を発信する国際的な場の形成に寄与することができた。

- ② 国内で開催する研究会等は基本的に日本語であるため、国際的な発信に直結しにくい。そのため、より積極的に英語でのウェビナー・オンライン対談等を設定していく必要がある。そのため、前述のように分科会「非・自由主義的な民主主義の体制と国際関係」が予定していた活動を他の研究会に吸収させる形で整理・統合し、その他の研究会の調査・発信能力を強化・本格化していく。米国の民主化支援をめぐる政策科学や、東南アジアや ASEAN 等の比較政治学研究を、地域研究者の協力を得て現地研究者と共に行うことにより、2024 年度からの国際的な発信・交流の機会の増進を図っていききたい。

- 補助事業者・研究者個人によるインターネット、SNS 等による広報やセミナー・シンポジウムの実施・参加等を通じ、国民の外交・安全保障に関する理解増進に取り組んだか。また、その反響があったか。

(※活動内容のみではなく、どのような活動がどう国民の理解を増進したのか、どのような反響があったかを総括的に記載すること。)

- ① ロシアのウクライナ侵略やイスラエル・ハマス紛争、台湾海峡問題、北朝鮮の核・ミサイル開発問題といった、世界と我が国を取り巻く外交・安全保障問題に関して、本事業に参画する研究メンバーは ROLES 公式 YouTube チャンネル「ROLES Channel (https://www.youtube.com/channel/UC8P_eA0Kc6hVeMcwS_W-GS)」を利用して、本事業および連関する二つの発展型総合事業によって得られた知見を即応的に動画にまとめて発信し、ROLES ウェブサイトの動画配信欄にリンクして、一元的に閲覧できるようにした。それらの成果物・発信を 6 万から 20 万程度のフォロワー数を有するメンバーの個人アカウントも活用して広報・拡散を行い、他の機関に先駆けて、多数の視聴者に視聴されるアウトリーチ活動を実施した。それを主要メディアの報道が参照にし、解説者の選定において ROLES ウェブサイトの分科会メンバーリストが参照されるなど、これらの紛争や危機に関する日本の国内世論を安定的・中庸に保つ効果が認められた。紛争・危機等に際しては、一定の期間においてウェビナーやシンポジウムを開催して状況のまとめおよび背景の深掘りを行ったが、これらの発信・イベントにおいては、単に事実関係を国民にわかりやすく発信するだけでなく、地域研究や安全

保障論等の知見を用いて、その背景や我が国としてとるべき方策などに関する踏み込んだ提言を行なってきたのが特徴である。

タスクフォース「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」が実施したシンポジウム「ロシアによるウクライナ侵攻と『ヨーロッパの東』」が 600 名を超す登録があるなど高い反響を呼び、また会場内で用紙を配り質問を募ったところ、30 数枚の質問が寄せられ、それに対して可能なものについては会場で即応して応答するなど、参加者からの反応とフィードバックを活発に行うことができた。終了後に、ROLES の X アカウントに参加者からの「今回も学び大き会でした」「一般市民にも分かりやすく発信してくださる上に、お家でも聴講可能なのは本当にありがたい」等の好意的な反応が多く寄せられ、それが第三者の国民にさらに広がっていくことで、本事業に対する認知・理解度も高まる契機になった。これらはロシア・ウクライナ戦争とその影響についての分析に対する国民の理解の裾野の広がりをもたらし、背景や波及に関する認識の深まりにも寄与できた。

- ② 時事的な問題への理解増進に寄与するだけでなく、外交史や実証政治学など、非専門家が触れる機会の少ない領域での理解増進にも今後は注力していきたい。この点については、YouTubeなどで、必ずしも短期的なメディアの関心を得られていない研究員も、その地道だが将来に需要が高まる可能性を秘める課題に関する調査研究を積極的に動画発信で発信積極的に行うことで、発信力の長期的な持続・増強を図っていきたい。

(外国シンクタンク・有識者等との連携、ネットワークを通じた国際世論の醸成への貢献)

- 研究過程における外国シンクタンク・有識者等（在日の有識者、外交官、外国メディア関係者を含む）との定期的な討論や共同研究等を通じ、諸外国の視点や海外シンクタンク・有識者等のネットワークを取り入れた調査研究や、日本の立場や見解に関する外国シンクタンク・有識者等による理解の増進に取り組んでいるか。

(※ 活動内容のみではなく、外国シンクタンク・有識者との連携がどれほど、どのように深められたかを総括的に記載すること。)

(※調査研究事業については本項目の記載は任意。)

- ① 前述したように、タイやエストニアなどの大学諸機関の有力研究者との定期的な交流を実現している。また、ROLES の研究室の若手メンバーを欧州に派遣し、当地での国際会議への出席、議論の参加を実現させるなど、旧来の大学・シンクタンクが主とし

て交流してきた米国や西欧以外も含めた幅広い地域との交流を実現している。これらの交流は、日本にとって手薄であった地域への発信力強化へとつながり、大きな意義を有すると思われる。 ② これらの海外シンクタンクとの協力は、研究者個人のネットワークに依存したものであるが、シンクタンク同士の公式的・組織的な交流を、特に戦略的な意義のある機関との間で築いていくことが、次の課題である。また、交流対象地域を広げ、オーストラリア、インド、インドネシアなど、未開拓の国との関係構築を進めることが課題である。新たな研究会体制を通じて、国際的な交流ネットワークを拡大させることを模索している。
● G7、安保理常任理事国以外の国のシンクタンクとの意見交換・セミナー実施を通じて、我が国の情勢認識及び外交施策に関する理解増進、並べに我が国にとり望ましい国際世論の醸成に取り組んでいるか。 (※調査研究事業については本項目の記載は任意。)
① これまで日本の大学やシンクタンクにとって手薄であった非米・非西欧地域であるタイのチュラロンコーン大学・タマサート大学やエストニア国際防衛安全保障センター(ICDS) との交流を実施した。また、9月にトルコで実施した一連の国際会議では、一方で中国およびウイグル問題で、他方でロシア・ウクライナ戦争をめぐる日本の主張の発信とそれに対する反応を得た。そのほか、外務省等の招聘枠組みで海外から有識者の来訪があった場合、東大先端研 ROLES で過去実施してきた RCAST Security Seminar の枠組みを利用し、公開あるいは非公開でのセミナーを開催し、日本と外国の専門家と実務家による議論や意見交換の機会を作ることができた。 ② G7・安保理常任理事国以外の国と重点的に交流してきたが、今後は、対象となりうる国を増やし、幅広い議論と発信の場をいかにして強化するかが課題となる。
(2) 補助事業の実施体制及び実施方法
● 若手、女性、地方在住研究者を積極的に登用しているか。若手研究者の育成（英語による発信力の強化を含む。）に取り組んでいるか。
① 若手研究者を特任研究員として雇用する他に、学部生や大学院生をインターンとして雇用することで、次世代の研究者・専門家の育成を強化している。また、分科会・タスクフォースのメンバーに地方在住者を重点的に加え、研究会合や国際ワークショップ、国際セミナーなどを京都や福岡といった関西・西日本で開催するなど、従来の東京偏重なシンクタンク活動のあり方を是正し、関西・西日本の研究拠点化に取り組ん

できた。そのほかに、各分科会・タスクフォースのメンバーに若手・女性研究者を取り入れ、特に分科会「戦後日本外交の歴史的研究」はメンバーのほとんどを若手研究者にするなど、若手の活躍の場を広げることに注力した。また、若手研究者を米国に派遣し、現地に保存されている最新の資料を収集したほか、米国情勢を若手研究者に学ばせる機会を提供することに成功した。 ② 女性研究者を今後増やすことが課題である。特に、新規雇用の特任研究員が男性だけである状況は次年度以降の反省材料である。
● 複数の分科会や研究会がある場合、それらの間の有機的な連携が取れているか。 ① ROLES が実施中の他事業のものも含め、各分科会・タスクフォースの研究会合・セミナー・シンポジウム等の実施に際し、積極的に案内を出すことでクロス出席ができるよう配慮している。また編集計画中の研究年報では、各分科会・タスクフォースの知見を集めることで、横の連携の実現を図っていく。 ② 他事業のものも含め、各分科会・タスクフォース同士の有機的な連携が十分に行われたとは言い難い。今後は新しい体制で研究会同士の合同研究会を始めとした連携的な活動を積極的に強化したいと考える。
● 外務省等の関係部局とのコミュニケーションを構築し、政策立案上のニーズを把握し、それを踏まえて効果的にアウトプット・政策提言を行ったか。 ① 研究会合やシンポジウム等に、外務省をはじめとした関係省庁へのオブザーバー参加を募り、毎回、各部署や、大使経験者など高度に専門的な実務家からの活発な参加を得た。また外務省や内閣官房等の職員と研究メンバーの間では、相互にヒアリングなどの接触を重ね、定期的な意見交換・議論の場を設けた。 ② 研究の成果を有意義な政策提言に結びつけるよう、関係官庁・機関との有効なコミュニケーションの制度化を進める必要がある。各分科会・タスクフォースで積み上げた情報収集や調査研究をもとに、政策決定の現場で参照しやすい成果物を本事業内でまとめられるように、需要の高いテーマと有効なフォーマットを検討することが今後の課題である。
● 補助事業者のホームページ上に、研究部門、研究者個人（研究実績、写真、連絡先等）の情報を充実させ、研究内容及び研究者の見える化に努めているか。 ① 本事業の実施過程は、逐一、ROLES の独自のウェブサイトを制作会社と常時協議しながら完備しアップデートしている。イベント欄・ニュース欄で日々の活動をリアルタ

イムで掲載している他、各分科会・タスクフォースの固定ページを設けてリンクし、それぞれの分科会の・タスクフォースの活動を取り出して即座に紹介できる仕組みを構築している。ROLES の常勤メンバーと、分科会・タスクフォース等のメンバーの両方を組み込んだプロフィール欄を整備し、関与するすべてのメンバーが一覧に供されており、最新の国際情勢の展開に応じ、メディア企業や官庁・企業等が専門家の知見を求める際に参照されるウェブサイトとなっている。成果物は文字媒体だけでなく動画も積極的に勝義、全てをウェブサイトの刊行物・動画配信の欄にリンクし一元的に参照できるようにしてある。ウェブサイトは日・英の2言語で構成され、国際的な成果発信に意を用いている。

- ② 100 名に近付いてきた分科会・研究会・タスクフォースのメンバーのプロフィールを常時アップデートすることは容易ではなく、それぞれが活発に発表する研究成果を完全に網羅する体制は未だ整っていない。もし本事業および関連する二つの発展型総合事業を含めた全メンバーの最新の業績が参照できるウェブサイト发展到させれば、それらのメンバーが各分野の最先端の専門家であるため、ROLES ウェブサイトの競争力は一層高まると思われる。各掲載事項のばらつきを把握し、情報の追加に力を入れることで、本ウェブサイトの価値をさらに高めていく。また、より効果的なポータルサイトの実装も含めたウェブサイトの総合的なアップデートの計画をウェブ制作会社と共に進め、変更が多岐にわたるため一部実装が出来ていないものもあるが、年度内のできる限りの実装を行い、残部の実装を 2024 年度のできるだけ早い時期に行う予定である。

- 組織自体の外交・安全保障政策に関する政策提言能力及び国際発信力を強化し、国際的な議論の先導に努めているか。（※実施状況のほか、発信がどう国際世論の先導につながったかを記載すること。）

（※総合事業及び調査研究事業については本項目の記載は任意。）

- ① 他の事業とともに、英語でのシンポジウムやセミナー、ワークショップを積極的に開催するほか、動画や研究成果物の発信により、組織としての国際発信力の強化に努めている。
- ② 政策提言や国際発信をより組織横断的なものにする必要があり、この点で改善の余地がある。

● グローバルに活躍する若手人材を含む多様なシンクタンク人材の発掘・育成に意を用い、これら人材の国際的な発進力強化に取り組んでいるか。 (※総合事業及び調査研究事業については本項目の記載は任意。)
① 本事業は総合事業であるが、同時期に採択された 2 つの発展型総合事業と統合的に立案され、実施されている。本事業を含む 3 つの事業を統合的に実施するために、語学に堪能な若手研究者を特任助教や特任研究員として迎え入れただけでなく、受け入れ機関の東京大学および受け入れ部局の先端研との交渉により、本事業のさらなる企画および実施に多くの時間を割く若手の専任の教授ポストの増員を勝ち取り、2024 年度 4 月 1 日から加わる予定である。同時に、研究実施主体の ROLES では 2023 年度に学部生・大学院生のインターンを 2 期に渡り募集し、高い関心を集めて多くの応募を得た上で、厳選して採用し、本事業の実施の基礎的部分（分科会会合の文字起こしなど）を体験してもらうなど、若手人材の発掘・育成に力を入れた。インターンに応募し採用された学生は、研究者志望だけでなく実務家志望も含み、語学面では英語だけでなくロシア語話者も含まれるなど、シンクタンクへの関心を幅広い層に喚起することができた。また、連携研究員制度によりエネルギー企業や総合商社の調査部門の研究者を受け入れるなど、多様な人材の確保と育成に取り組んでいる。 ② 女性や外国出身研究者の受け入れに乏しい点が今後の課題である。
(3) 補助金の使用
● 補助金事業事務処理マニュアルに沿って事業が実施されているか。(※①補助金事業事務処理にマニュアルに従った経費処理がなされていない場合には、その事項について記載すること。②その原因、次年度の改善について記載すること。)
① 本事業団体では大学執行部、研究室の研究部門、事務部門にて「補助金事業事務処理マニュアル」を共有し、マニュアルに従った執行がなされている。

3-1 事業の実施状況・成果

※以下のカテゴリーに沿って、具体的な実施状況（日時、場所、参加者/参加人数、テーマ、調査、議論や対外発信の概要、成果等）について記載すること。（分量自由）

1. 基礎的情報収集・調査研究

分科会・タスクフォースによる研究会合の実施概要

(1) 分科会「自由民主主義の動揺と再編」

1) 打ち合わせ

【日時】2023年7月29日(土)10:00～12:00

【場所】同志社大学今出川キャンパス内

【参加者／参加人数】2名

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

石本凌也（同志社大学大学院法学研究科博士課程）

【概要】

アメリカ大統領選挙のスケジュールを踏まえて、分科会の方向性と、今年度の発表者候補について打ち合わせをした。

2) 打ち合わせ

【日時】2023年7月29日(土)13:00～15:00

【場所】京都府京都市

【参加者／参加人数】2名

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

坂元一哉（大阪大学名誉教授）

【概要】

アメリカ大統領選挙のスケジュールを踏まえて、分科会の方向性と、今年度の発表者について打ち合わせをした。

3) 第1回会合

【日時】2023年9月18日(月)13:00～15:00

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】16名

阿部亮子（同志社大学法学部助教）
田中慎吾（大阪経済法科大学准教授）
山口航（帝京大学法学部専任講師）
杉田弘毅（共同通信社特別編集委員）
小島吉之（帝塚山大学非常勤講師）
待鳥聡史（京都大学大学院法学研究科教授）
石本凌也（同志社大学大学院法学研究科博士後期課程・サントリー文化財団鳥井フェロー）
村田晃嗣（同志社大学法学部教授）
高橋慶吉（大阪大学大学院法学研究科教授）
瀧井一博（国際日本文化研究センター教授）
松本佐保（日本大学国際関係学部教授）
小谷哲男（明海大学外国語学部教授）
合六強（二松学舎大学国際政治経済学部准教授）
鶴岡路人（慶應義塾大学総合政策学部准教授）
鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）
池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

【概要】

「アメリカ大統領図書館—歴史的変遷と活用ガイド」と題して、高橋慶吉（阪大教授）、田中慎吾（大阪経済法科大学准教授）、山口航（帝京大専任講師）より、アメリカ大統領と公文書の関係について報告があり、その後、質疑応答・全体討論を行った。

（2）分科会「戦後日本外交の歴史的研究」

1) 第1回予備会合

【日時】2023年4月21日(金) 13:00～15:00

【場所】東大先端研

【参加者／参加人数】3名

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）
池宮城陽子（日本学術振興会特別研究員）
濱砂孝弘（早稲田大学先端社会科学研究所助教）

【概要】

分科会全体の活動目標と今年度の活動内容について話し合った。

2) 打ち合わせ

【日時】2023年7月28日(金)20:00～21:00

【場所】京都府京都市

【参加者／参加人数】4名

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

濱砂孝弘（早稲田大学先端社会科学研究所助教）

西村真彦（日本国際文化研究センター機関研究員）

中島琢磨（九州大学大学院法学研究院准教授）

【概要】

座長を交えて、今年度の活動内容について話合った。

3) 第2回予備会合

【日時】2023年9月5日(火)11:15～12:45

【場所】九州大学東京オフィス

【参加者／参加人数】2名

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

中島琢磨（九州大学大学院法学研究院准教授）

【概要】

座長を交えて、今年度の研究会合の発表者と、資料調査として何を実施するかを話合った。

4) 第1回会合

【日時】9月25日（月）12:00～13:30

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】7名

中島琢磨（九州大学大学院法学研究院准教授）

池宮城陽子（日本学術振興会特別研究員）

西村真彦（国際日本文化研究センター機関研究員）

藤田吾郎（早稲田大学政治経済学術院講師）

濱砂孝弘（早稲田大学先端社会科学研究所助教）

真栄城拓也（大阪大学 CO デザインセンター特任助教）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

座長(中島・九大准教授)より分科会の趣旨の説明があり、続いて幹事（鍛冶）より活動にあたっての事務手続について説明をした。今年度の資料調査として実施すべき内容を話し合った後、10月に第2回会合を実施することを決め、会合を終えた。

5)第2回会合

【日時】10月10日（火）13:00～15:00

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】7名

中島琢磨（九州大学大学院法学研究院准教授）

池宮城陽子（日本学術振興会特別研究員）

西村真彦（国際日本文化研究センター機関研究員）

藤田吾郎（早稲田大学政治経済学術院講師）

濱砂孝弘（早稲田大学先端社会科学研究所助教）

真栄城拓也（大阪大学 CO デザインセンター特任助教）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

「講和後初期の沖縄をめぐる日本外交 1953～1955」と題して、池宮城陽子（日本学術振興会特別研究員）より報告があり、質疑応答・全体討論が行われた。

6)打ち合わせ

【日時】2023年11月11日(土)21:00～22:00

【場所】福岡国際会議場付近

【参加者／参加人数】5名

西村真彦（国際日本文化研究センター機関研究員）

藤田吾郎（早稲田大学政治経済学術院講師）

濱砂孝弘（早稲田大学先端社会科学研究所助教）

真栄城拓也（大阪大学 CO デザインセンター特任助教）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

2024 年 1 月に福岡（九州大学）で開催する国際ワークショップの内容と、今年度の活動について打ち合わせをした。

7) 打ち合わせ

【日時】 2023 年 1 月 22 日(月)14:00～18:00

【場所】 九州大学・Zoom のハイブリッド方式

【参加者／参加人数】 6 名

中島琢磨（九州大学大学院法学研究院准教授）

藤田吾郎（早稲田大学政治経済学術院講師）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

真栄城拓也（大阪大学 CO デザインセンター特任助教）

西村真彦（国際日本文化センター機関研究員）

濱砂孝弘（早稲田大学先端社会科学研究所助教）

【概要】

翌日 1 月 23 日に開催する国際ワークショップについてと、外交史料データベースの整備、2024 年度の研究活動について打ち合わせを実施。

8) 外交史ワークショップ「日米安保体制の形成」（Diplomatic History Workshop “Why Was the U.S.-Japan Security System Formed?: The Truman administration, Yoshida Shigeru, and Fear of Revolution”）

【日時】 2024 年 1 月 23 日（火）13:00～14:30

【場所】 九州大学・伊都キャンパス

【参加者／参加人数】 11 名

中島琢磨（九州大学大学院法学研究院准教授）

藤田吾郎（早稲田大学政治経済学術院講師）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

真栄城拓也（大阪大学 CO デザインセンター特任助教）

他 7 名

【概要（プログラム）】

13:00-13:10 Opening

13:10-13:30 “Research Issues in the Political and Diplomatic History of Japan in the 1950s”
(Nakashima Takuma, Kyushu University)

13:30-14:30

“Why Was the U.S.-Japan Security System Formed?: The Truman administration, Yoshida Shigeru, and Fear of Revolution”(Fujita Goro, Waseda University)

14:30 Closing

(3) 分科会「非自由主義的な民主主義の体制と国際関係」

1) 竹中ユニット第1回予備会合

【日時】2023年5月19日(金) 14:00～15:00

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】2名

竹中治堅(政策研究大学院大学教授)

池内恵(東京大学教授)

2) 竹中ユニット第2回予備会合

【日時】2023年7月16日(日) 17:00～21:30

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】2名

竹中治堅(政策研究大学院大学教授)

池内恵(東京大学教授)

3) 大庭ユニット第1回予備会合

【日時】2023年12月6日(水) 18:00～19:00

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】2名

大庭三枝(神奈川大学教授)

池内恵(東京大学教授)

(4) タスクフォース「中・東欧・バルカン諸国の自由民主主義の帰趨」

1) 第1会合

【日時】2023年9月11日(月) 14:00～15:00

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】12名

東野篤子（筑波大学教授）

小森宏美（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

山本直（日本大学法学部教授）

中井遼（北九州市立大学法学部准教授）

保坂三四郎（エストニア国際防衛安全保障センター研究員）

西山美久（元北海道大学国際連携機構特任助教）

国末憲人（朝日新聞論説委員）

田中祐真（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

篠木菜月（ケント大学ブリュッセル校国際関係研究科修士課程）

服部倫卓（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

【概要】

座長（東野・筑波大教授）よりタスクフォースの活動趣旨と、今年度の活動内容についての話があった。続いて参加者よりそれぞれ自己紹介と研究分野についての紹介があり、最後に座長から11月実施のシンポジウムの説明をして会合を終えた。

2) 第2回会合

【日時】2023年11月20日(月)13:00～15:00

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】10名

東野篤子（筑波大学人文社会系教授）

国末憲人（朝日新聞論説委員・東京大学先端研客員上級研究員）

合六 強（二松学舎大学国際政治経済学部准教授）

中井遼（北九州市立大学法学部准教授）

服部倫卓（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

保坂三四郎（エストニア国際防衛安全保障センター研究員）

山本直（日本大学法学部教授）

小森宏（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

西山美久（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

【概要】

中井遼「"Liberalism under the shadow in the East"について」

山本直「『オルバンのハンガリー ヨーロッパ価値共同体の相剋』について」

3) 第3回会合

【日時】2024年1月18日(木)13:00～15:00

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】10名

東野篤子（筑波大学人文社会系教授）

国末憲人（東京大学先端科学技術研究センター特任教授）

合六 強（二松学舎大学国際政治経済学部准教授）

中井遼（北九州市立大学法学部准教授）

保坂三四郎（エストニア国際防衛安全保障センター研究員）

篠木菜月（ケント大学ブリュッセル校国際関係研究科修士課程）

服部倫卓（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

小森宏美（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

西山美久（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

田中佑真（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）【テーマ・概要】

国末憲人「ウクライナでの戦争犯罪追及と国際社会」・客員上級研究員による出張報告（欧州諸国およびICC）

合六強「冷戦後 NATO 拡大・パートナーシップ政策とヨーロッパ安全保障秩序」

4) エストニアへの現地調査

2月17日～2月22日にかけて、同タスクフォースメンバー及び ROLES メンバー、発展型総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」「ユーラシア諸地域の内在論理」座長により訪問団を結成し、エストニア共和国のタリン市、ナルヴァ市、タルトゥ市へ出張し現地研究機関と交流した。なお、ヒア

リング記録及び発信成果については、2. を参照。

【訪問団メンバー】

東野 篤子	筑波大学人文社会系教授（団長）
池内 恵	東京大学先端科学技術研究センター教授
川島 真	東京大学大学院総合文化研究科教授
国末 憲人	東京大学先端科学技術研究センター特任教授
合六 強	二松学舎大学国際政治経済学部准教授
保坂 三四郎	エストニア国際防衛安全保障センター研究員（エストニア在住）
西山 美久	東京大学先端科学技術研究センター特任助教
田中 佑真	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員
大木 有容	東京大学先端科学技術研究センター研究交流生／東京大学法学部4年
平田 拓海	東京大学先端科学技術研究センター研究交流生／早稲田大学大学院政治学研究科院修士課程1年）

【訪問スケジュール】

日時	訪問先
2月17日（土）	エストニア占領博物館（VABAMU）
2月18日（日）	タルトゥ大学ナルヴァ校
2月19日（月）	タルトゥ大学（ヨハン・シュッテ研究所、アジアセンター、ウクライナセンターとの合同セッション） バルト防衛大学
2月20日（火）	国際防衛安全保障センター（ICDS）
2月21日（水）	タリン大学 エストニア外務省 歴史記憶院
2月22日（木）	国際防衛安全保障センター（副所長らとの意見交換）

（5）タスクフォース「自由民主主義分析の実証的方法と応用」

1) 第1回会合

【日時】 2023 年 4 月 28 日(金) 13:00～14:00

【場所】 Zoom

【参加者／参加人数】 8 名

待鳥聡史（京都大学大学院法学研究科教授）

大村華子（関西学院大学総合政策学部教授）

彦谷貴子（学習院大学国際センター教授）

竹中治堅（政策研究大学院大学教授）

山田真裕（関西学院大学法学部教授）

外山文子（筑波大学人文社会系准教授）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

座長（待鳥・京大教授）よりタスクフォースの活動趣旨についての話があり、続いて池内・東大教授より補足の説明があった。参加者から今年度の活動内容についてそれぞれ話がなされ、本会合を終えた。

2) クローズドセミナー「非西欧世界における自由民主主義の可能性と限界:2023 年 5 月のタイ総選挙の結果から考える」

【日時】 2023 年 7 月 14 日 14:00—17:30

【場所】 京都大学東南アジア研究所

【参加者】

待鳥聡史(京都大学)

パンディット・チャンロチャナキット(チュラロンコン大学)

チャーンビット・カセツイリ(タマサート大学)

パビン・チャチャヴァルポンブン(京都大学 CSEAS)

ヴィエンラット・ネティポ(チュラロンコン大学/首都大学)

アナン・クルドフェット(タマサート大学)

【概要（プログラム）】

Moderator: Ayako TOYAMA (University of Tsukuba/Kyoto University)

Opening remarks: Satoshi MACHIDORI (Kyoto university)

Presentations:

① Pandit Chanrochanakit (Chulalongkorn University)

② Charnvit Kasetsiri (Thammasat University)

Discussion:

① Pavin Chachavalpongpun (CSEAS, Kyoto university)

② Viengrat Nethipo (Chulalongkorn University/Osaka Metropolitan University)

③ Anan Krudphet (Thammasat University)

3) 第2回会合

【日時】2024年1月25日(木) 16:30～18:30

【場所】京都大学・Zoomのハイブリッド方式

【参加者／参加人数】13名

待鳥聡史（京都大学大学院法学研究科教授）

大村啓喬（滋賀大学経済学部准教授）

大村華子（関西学院大学総合政策学部教授）

竹中治堅（政策研究大学院大学教授）

外山文子（筑波大学人文社会系教授）

山田真裕（関西学院大学法学部教授）

その他、オブザーバー参加あり

【概要】

山田真裕・関西学院大学法学部教授より、「民主主義体制の測定について」と題した報告がなされ、質疑応答・議論がなされ、本会合を終えた。

4) 打ち合わせ

【日時】2024年1月25日(木) 19:00～21:00

【場所】京都大学

【参加者／参加人数】6名

待鳥聡史（京都大学大学院法学研究科教授）

大村啓喬（滋賀大学経済学部准教授）

大村華子（関西学院大学総合政策学部教授）

竹中治堅（政策研究大学院大学教授）

外山文子（筑波大学人文社会系教授）

山田真裕（関西学院大学法学部教授）

【概要】

研究会の今後の活動について打ち合わせ・意見交換を実施。

5) タイ国際セミナー

【日時】 2024 年 2 月 15 日 14:00—17:30

【場所】 京都大学東南アジア地域研究研究所

【参加者】 10 名（登壇者 5 名、一般参加者 5 名）

外山文子（筑波大学人文社会系准教授）

ワサン・ルアンプラパット（タムマサート大学政治学部 准教授）

プラウィット・ワタナスック（タムマサート大学政治学部 講師）

カムラングパット・チャチャダー（公共政策大学院大学博士課程）

永井史男（大阪公立大学）

【概要（プログラム）】

報告者

ワサン・ルアンプラパット（タムマサート大学政治学部 准教授）

「Subnational Governance in Thailand: Decentralization Reform, Re-centralization Scheme

and the Changing Landscape of Local Politics」

プラウィット・ワタナスック（タムマサート大学政治学部 講師）

「Towards a New Constitution?: The Politics of Thailand 's Constitutional Amendment and Referendum」

討論者

カムラングパット・チャチャダー（公共政策大学院大学博士課程）

永井史男（大阪公立大学）

モデレーター

外山文子（筑波大学准教授）

(6) タスクフォース「言説空間分析の文理横断的方法と応用」

(6-1) サブグループ「世論調査プロジェクト」

1) 打ち合わせ

【日時】 2023 年 6 月 6 日(火) 9:00～10:00

【場所】 Zoom

【参加者／参加人数】 3 名

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）

合六強（二松学舎大学国際政治経済学部准教授）

中井遼（北九州市立大学政策科学科准教授）

【概要】

本プロジェクト発足の趣旨について打ち合わせを行なった。

2) 打ち合わせ

【日時】 2023 年 7 月 14 日(金) 9:00～10:00

【場所】 Zoom

【参加者／参加人数】 4 名

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）

合六強（二松学舎大学国際政治経済学部准教授）

中井遼（北九州市立大学政策科学科准教授）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

世論調査に必要な手続や、質問内容について打ち合わせを行なった。

3) ユニット会合

【日時】 2023 年 8 月 22 日(火) 11:00～12:30

【場所】 Zoom

【参加者／参加人数】 5 名

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）

合六強（二松学舎大学国際政治経済学部准教授）

中井遼（北九州市立大学政策科学科准教授）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

飯田健（同志社大学法学部教授）

【概要】

「JIIA-CCGA 共同世論調査の理論的背景、設計、実施」と題した報告が報告者（飯田同志社大教授）よりなされ、その後、質疑応答・全体討論が行われた。

4) 打ち合わせ

【日時】 2023 年 9 月 21 日（木）10:00～11:30

【場所】 Zoom

【参加者／参加人数】 5 名

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）

飯田健（同志社大学法学部教授）

合六強（二松学舎大学国際政治経済学部准教授）

中井遼（北九州市立大学政策科学科准教授）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

世論調査を実施した場合の、具体的な質問内容についての打ち合わせを行なった。

5) 打ち合わせ

【日時】 2023 年 9 月 29 日（金）10:00～12:00

【場所】 Zoom

【参加者／参加人数】 4 名

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）

飯田健（同志社大学法学部教授）

合六強（二松学舎大学国際政治経済学部准教授）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

世論調査を実施した場合の、具体的な質問内容についての打ち合わせを行なった。

6) 打ち合わせ

【日時】 2023 年 10 月 6 日（金）9:00～10:00

【場所】 Zoom

【参加者／参加人数】4名

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）

飯田健（同志社大学法学部教授）

合六強（二松学舎大学国際政治経済学部准教授）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

東京大学の倫理審査に備えて、質問内容の整備についての打ち合わせを行なった。

7)打ち合わせ

【日時】2023年10月11日（水）8:00～9:30

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】4名

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）

飯田健（同志社大学法学部教授）

合六強（二松学舎大学国際政治経済学部准教授）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

東京大学の倫理審査に備えて、質問内容の整備についての打ち合わせを行なった。

8)打ち合わせ

【日時】2023年10月19日（木）8:00～9:00

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】4名

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）

飯田健（同志社大学法学部教授）

合六強（二松学舎大学国際政治経済学部准教授）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

東京大学の倫理審査に備えて、質問内容の整備についての打ち合わせを行なった。

9)打ち合わせ

【日時】 2023 年 12 月 6 日（水） 8:30～9:30

【場所】 Zoom

【参加者／参加人数】 4 名

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター准教授）

飯田健（同志社大学法学部教授）

合六強（二松学舎大学国際政治経済学部准教授）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

パイロット調査の段取りと質問内容について調整する打ち合わせを行なった。

10) 打ち合わせ

【日時】 2024 年 2 月 6 日（火） 8:30-9:30

【場所】 Zoom

【参加者／参加人数】 5 名

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター准教授）

飯田健（同志社大学法学部教授）

合六強（二松学舎大学国際政治経済学部准教授）

中井遼（北九州市立大学政策科学科准教授）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

本調査の実施時期についての打ち合わせを行った。

2. 機動的かつタイムリーな国内外への発信（インターネット等による広報、公開セミナーの開催を含む）

イベントのメディア掲載

- ・ タスクフォース「中・東欧・バルカン諸国の自由民主主義の帰趨」の実施したエストニア訪問に関し、以下の発信がなされた。
 - 2 月 21 日にタリン大学で実施した川島真教授（ROLE の実施するもう一つの発展型総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」分科会「ユーラシア諸地域の内在論理」座長）による講義の案内が、

タリン大学ウェブサイトに掲載された。

“Professor Shin Kawashima’s Lecture “TAIWAN ELECTION RESULTS AND XI JINPING’S TAIWAN POLICY” (<https://www.tlu.ee/en/events/professor-shin-kawashimas-lecture-taiwan-election-results-and-xi-jinpings-taiwan-policy>) ”

➤ 2月20日に実施した国際防衛安全保障センター（ICDS）とのワークショップの概要が、ICDS ウェブサイトに掲載された。

“ICDS-ROLES Expert Dialogue: Russia’s Aggression against Ukraine and Its Global Impact” (<https://icds.ee/en/icds-roles-expert-dialogue-russias-aggression-against-ukraine-and-its-global-impact/>)

ROLES ウェブサイトを通じた発信

本事業では、ROLES ウェブサイト (<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/>) において、以下のような発信を行っている。

- 日本語版刊行物：「ROLES Commentary」「ROLES Report」
- 英語版刊行物：「ROLES INSIGHTS」
- ジャーナル（日英）：『ROLES Review』
- 日本語版時事解説動画シリーズ：「ROLES Cast」
- 英語版時事解説動画シリーズ：「ROLES Talk」
- その他の動画：YouTube チャンネル「ROLES Channel」 (<https://www.youtube.com/@ROLESChannel>) 登録者数 8060 人
- 各種セミナー・シンポジウムの告知：「イベント」欄 (<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/events>)
- その他のお知らせ：「ニュース」欄 (<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/news>)

【ROLES Report／Commentary】

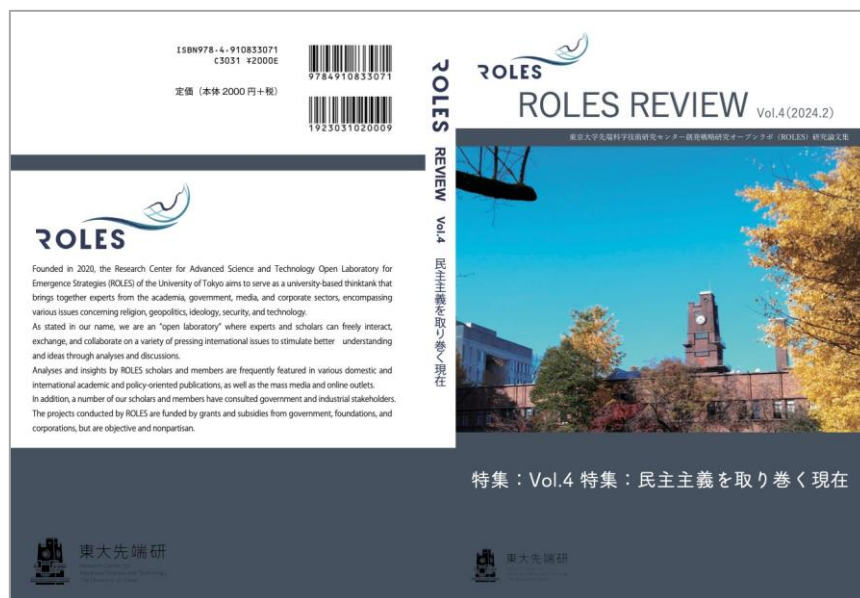
- 2023年11月29日に逝去したヘンリー・キッシンジャー氏を追悼すべく、発展型総合事業「国際理念と秩序の潮流 日本の安全保障戦略の課題」研究会「日本の価値観外交の検証と再構築」と本事業の分科会「自由・民主主義の動揺と再編」と分科会「非自由主義的な民主主義の体制と国際関係」による合同特集企画として、遠藤乾東京大学教授（ROLES COMMENTARY No. 13 「キッシンジャー、死してなお」）、石本凌也特任研究員（ROLES REPORT No.29 "Henry Kissinger and Japan: Focusing on the Nixon-Ford Administration

Years")、小林弘幸特任研究員（ROLES Commentary No. 15「世界はキッシンジャーの死去に際して何を語ったか」）、大庭三枝神奈川大学教授（ROLES Commentary No. 16 大庭三枝「キッシンジャーの訃報に寄せて：リアルポリティークがアジアに残したもの」）を執筆した。

作成日	刊行物タイトル	分科会
2023/10/3	ROLES REPORT No.26 小林弘幸「岸田政権の核軍備管理・軍縮・不拡散政策 ―「核兵器のない世界」への現状と課題―	分科会「自由民主主義の動揺と再編」
2023/10/24	ROLES REPORT No.27 大村華子「日本の有権者の『党派性に動機づけられた推論 (partisan motivated reasoning)』を考える」	タスクフォース「自由民主主義分析の実証的方法と応用」
2023/11/10	ROLES REPORT No. 28 大村華子 「政府への業績評価と認知のゆがみについて考える」	タスクフォース「自由民主主義分析の実証的方法と応用」
2024/2/25	ROLES COMMENTARY No. 13 遠藤乾「キッシンジャー、死してなお」	研究会「日本の価値観外交の検証と再構築」
2024/2/28	ROLES REPORT No.29 Ryoya ISHIMOTO"Henry Kissinger and Japan: Focusing on the Nixon-Ford Administration Years"	分科会「自由民主主義の動揺と再編」
2024/2/29	ROLES COMMENTARY No. 15 小林弘幸「世界はキッシンジャーの死去に際して何を語ったか」	分科会「自由民主主義の動揺と再編」
2024/3/22	ROLES COMMENTARY No. 17 大庭三枝「キッシンジャーの訃報に寄せて：リアルポリティークがアジアに残したもの」	分科会「非自由主義的な民主主義の体制と国際関係」
2024/3/27	ROLES COMMENTARY No. 18 ロシアに接するエストニアの不安と懸念 ROLES 訪問団報告（上）	タスクフォース「中・東欧・バルカン諸国の自由民主主義の帰趨」
2024/3/28	ROLES COMMENTARY No. 19 エストニア、外への備えと内なる課題 ROLES 訪問団報告（下）	タスクフォース「中・東欧・バルカン諸国の自由民主主義の帰趨」

【ROLES Review】

また、本事業では『ROLES Review Vol.4 特集：自由民主主義を取り巻く現在』を2月29日付で刊行した。表紙と目次は以下の通り（別添参照）。



《目次》

- 第1章 大村華子「日本の有権者の『党派性に動機づけられた推論（partisan motivated reasoning）』を考える」
- 第2章 大村華子「政府への業績評価と認知のゆがみについて考える」
- 第3章 小島吉之「ロシアのウクライナ侵攻（2022年2月）と米国の情報開示 — 情報による戦争抑止の可能性に関する考察 —」
- 第4章 田中祐真「ポーランドの対ウクライナ姿勢—ウクライナとの『連帯』における政治的・感情的背景—」
- 第5章 田中祐真「中・ウクライナ首脳電話会談前後の動きから読み取れるウクライナの最近の対中姿勢」
- 第6章 田中祐真「ゼレンスキー政権におけるウクライナ大統領府の存在 —イェルマーク長官への権力の集中—」
- 第7章 田中祐真「ウクライナ国防相の人事交代 —レズニコフ退任とウメロフ就任の背景—」
- 第8章 "What the October 7 attack and the Israel-Hamas War means for the Middle East and the World"
- 第9章 小林弘幸「岸田政権の核軍備管理・軍縮・不拡散政策 —「核兵器のない世界」への現状と課題—」
- 第10章 乗原響子「カナダの偽情報対策にみる 成果と課題: 日本へのインプリケーション」

【その他】

広報用資料として、昨年度作成した ROLES パンフレットを改訂した（下図参照）。



日本と米国、両国の日米安保条約に関わる歴史的資料データベースを構築した（継続中）。

URL: https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/material_categories/Japan_US_Alliance

ROLES 自体の広報のためのイベント

ROLES という組織自体の広報のため、以下のイベントを発展型総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」及び「国際理念と秩序の潮流 日本の安全保障戦略の課題」と連携して実施した。

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	事前登録	当日参加
2023/6 /10	「大学発・外交安全保障シンクタンクの挑戦：東大先端研 ROLES と慶應 KGRI の競争と協業」	細谷雄一（慶應義塾大学法学部教授／戦略構想センター・センター長）、森聡（慶應義塾大学法学部教授／戦略構想センター・副センター長）、池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授／ROLES 代表）、小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師／ROLES 副代表）	ハイブリット	371	271

2023/6 /10	東大駒場リサーチキャンパス 公開 2023 バーチャル研究室 公開	<前半> 池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授、小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師） <後半> 山口亮（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）、伊藤和歌子（東大先端研シニアプログラムコーディネーター）、立田由紀恵（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）、田中周（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）、豊田耕平（東京大学先端科学技術研究センター連携研究員）、鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）	ZOOM ウェビナー	188	100
---------------	---	---	---------------	-----	-----

2023/1 1/10	エネルギー国際安全保障機構 設立記念国際シンポジウム 「グローバルセキュリティと エネルギートランジション」	河野龍興（東京大学先端科学 技術研究センター エネルギー 国際安全保障機構長教 授）、杉山正和（東京大学先 端科学技術研究センター所長 教授）、大久保達也（東京大 学理事・副学長教授）、柳 澤好治（文部科学省研究振興 局大学研究基盤整備課長）、 ジェーン・ナカノ（戦略国際 問題研究所（米国） シニア フェロー）、白井俊行（経済 産業省資源エネルギー庁長官 官房国際課長）、加藤淳（外 務省国際協力局気候変動課 長）、ピーター・ロバーツ （在日オーストラリア大使館 首席公使）、ディディエ・ マルティ＝ドシュ（在日フラ ンス大使館科学技術参事 官）、西村元彦（川崎重工業 ㈱専務執行役員、エネルギー ソリューション＆マリンカン パニープレジデント）、テユ ン・キム（国際エネルギー機 関 IEA ）、近藤重人（日本 エネルギー経済研究所中東研 究センター 主任研究員）、 佐藤康司（ENEOS 株式会社 執行役員 中央技術研究所 長）、池内恵（東京大学先端	対面	131	101
------------------------	---	---	-----------	------------	------------

		科学技術研究センター 教授)			
--	--	----------------	--	--	--

また、日本語で開催する国内向け公開シンポジウム／セミナーの開催実績は以下のとおりである。

【国内向け公開シンポジウム・セミナーの開催実績】

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	共催機関	事前登録	当日参加
2023/6/10	「大学発・外交安全保障シンクタンクの挑戦：東大先端研 ROLES と慶應 KGRI の競争と協業」	細谷雄一（慶應義塾大学法学部教授／戦略構想センター・センター長）、森聡（慶應義塾大学法学部教授／戦略構想センター・副センター長）、池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授／ROLES 代表）、小泉悠（東京大学先端科学技術研	ハイブリット	—	371	271

		究センター専任講師／ROLES 副代表)				
2023/6/10	東大駒場リサーチキャンパス公開 2023 バーチャル研究室公開	<前半> 池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授、小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師） <後半> 山口亮（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）、伊藤和歌子（東大先端研シニアプログラムコーディネーター）、立田由紀恵（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）、田中周（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）、豊田耕平（東京大学先端科学技術研究センター連携研究員）、鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）	ZOOM ウェ ビナ ー	—	188	100
2023/11/8	ロシアによるウクライナ侵略と『ヨーロッパの東』	池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）、東野篤子（筑波大学教授）、国末憲人（朝日新聞論説委員・東大先端研客員上級研究員）、西山美久（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）、田中祐真（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）、小泉悠	ハイ ブリ ッド		570	298

		(東京大学先端科学技術研究センター専任講師)				
2023/12/8	セミナー「イスタンブルにおける近代日本外交の来歴」	池内恵 (東京大学先端科学技術研究センター教授) ジラルデッリ 青木美由紀 (イスタンブル工科大学建築学部建築学科助教授) 渡邊英徳 (東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授)	対面	—	32	27

ROLES メンバーのメディア出演実績

※ROLES 所属の教授・准教授・助教・研究員によるメディア出演実績は以下のとおり。

なお、ROLES は発展型総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」及び「国際理念と秩序の潮流 日本の安全保障戦略の課題」も実施しているが、事業別に出演実績を切り分けることは困難なため、上記2事業の実績報告書にも同様に記載している。

1.テレビ番組等

①池内恵 教授

日付	媒体	番組名・タイトル等
2023/11/8	BS テレ東	アメリカの説得も聞く耳持たず イスラエルはなぜ強硬なのか？ 【日経プラス9】 (2023 年 11 月 8 日)
2023/11/11	BS テレ東	日経プラス9 サタデー ニュースの疑問

2023/12/8	ZATSUDAN	池内恵氏×堀江貴文氏 ZATSUDAN Special
-----------	----------	-----------------------------

②小泉悠 准教授

日付	媒体	番組名・タイトル等
2023/4/5	BS フジ	プライムニュース▼欧米との対決強化へ 露の新外交指針を森本 & 小泉が分析<後編>
2023/4/5	BS フジ	プライムニュース▼欧米との対決強化へ 露の新外交指針を森本 & 小泉が分析<前編>
2023/4/6	BS 日テレ	【プーチン氏“戦術核配備”協議か】ウクライナ軍「ミグ29」どう使う？反転攻勢シナリオ…軍事プロガー“爆死”事件の背景に何が？【深層 NEWS】
2023/4/9	テレ朝 NEWS	【フィンランド NATO 加盟】安保環境の激変に“戦術核”対ロ抑止は？◆日曜スクープ◆（テキストアーカイブ）
2023/4/9	BS 朝日	日曜スクープ▼ロシア軍“バフムト攻撃”継続するも弾薬・人員の制約は…攻勢どこまで？ウクライナは反転攻勢の準備か▽NATO 拡大…フィンランド正式加盟、ロシア警告の「対抗措置」は!？（出演）
2023/4/12	TBS	米“機密文書”流出／ウクライナ反転攻勢への影響は・・・【4月12日（水）#報道 1930】
2023/4/19	TBS	“素顔”撮り続けた監督が語る「国民は進んで人質になった」【4月19日（水）#報道 1930】
2023/4/20	ニッポン放送	飯田浩司の OK!Cozy up!▼2023 年 4 月 20 日（木）コメンテーター：飯田泰之・小泉悠
2023/4/21	広島テレビ	【インタビュー】「核の威嚇と G7 広島サミット」小泉悠氏に聞く
2023/4/26	TBS	プーチン氏暗殺恐れ地下壕に？ロシアのテロ組織 実行犯の証言【4月26日（水）#報道 1930】
2023/4/26	NHK	NHK ジャーナル▼【核兵器を考える】第2回出演
2023/4/28	BS フジ	プライムニュース▼ウクライナ軍が活発化か？兵頭×小泉が戦局を徹底分析<前編>

2023/4/28	BS フジ	プライムニュース▼ウクライナ軍が活発化か？兵頭×小泉が戦局を徹底分析＜後編＞
2023/5/3	日テレ	news zero▼ロシア大統領府に無人機攻撃か 誰が実行？ 自作自演？ 小泉悠さん「かなり大きな展開が起きそうな局面を我々は見ている」
2023/5/4	テレビ朝日	グッド！モーニング▼ロシア大統領府に無人機攻撃か ウクライナは関与否定 “2つの不可解な点”指摘も【もっと知りたい！】
2023/5/4	BS フジ	プライムニュース▼プーチン暗殺未遂？クレムリンに無人機攻撃 小泉悠 x 岩田清文＜前編＞
2023/5/4	BS フジ	プライムニュース▼プーチン暗殺未遂？クレムリンに無人機攻撃 小泉悠 x 岩田清文＜後編＞
2023/5/5	TBS	“自作自演”か“ロシア反体制派”か“ウクライナ”か ロシア大統領府「クレムリン」ドローン攻撃 映像から浮かび上がる様々な疑問【news23】
2023/5/9	BS フジ	プライムニュース▼高橋杉雄×小泉悠がプーチン演説と軍事パレードを分析＜前編＞
2023/5/9	BS フジ	プライムニュース▼高橋杉雄×小泉悠がプーチン演説と軍事パレードを分析＜後編＞
2023/5/12	BS 日テレ	【小泉悠が分析！ウクライナ反転攻勢】英国長距離ミサイル「ストームシャドー」供与の狙いは？ 独自取材南部ザポリージャ州ロシア軍“大規模強奪”【深層 NEWS】
2023/5/12	読売テレビ	【ヨコスカ解説】苦しい露軍の実情は？ウ軍の反転攻勢は？G7で日本は世界を核軍縮に導ける？ロシア軍事に詳しい小泉悠氏に直撃！
2023/5/14	TBS	【報道 1930SP】 G 7 元高官らが証言/世界はプーチン氏をなぜ止められなかった【5月14日（日）#報道 1930】
2023/5/14	テレ朝 NEWS	【プリゴジン氏が国防幹部を痛罵】政治的野心に“内紛”混迷の火種は◆日曜スクープ◆(2023年5月14日)
2023/5/15	TBS	激戦地バフムト ウクライナ軍が一転攻勢に 戦場の原発「最悪のシナリオ」とは？【5月15日（月）#報道 1930】

2023/5/18	BS 日テレ	深層 NEWS▽ウクライナ反転攻勢に向けた空をめぐる攻防▽高橋杉雄×小泉悠が分析（出演）
2023/5/21	テレ朝 NEWS	【G7 広島に電撃出席】対口反撃で“首脳会談”ゼレンスキー氏の思惑◆日曜スクープ◆(2023 年 5 月 21 日)
2023/5/23	BS フジ	BS フジプライムニュース▼【越境攻撃？】小泉悠 徹底分析 ウクライナ最新戦況【F-16 供与】
2023/5/31	TBS	なぜ？モスクワ“ドローン攻撃”「決定は下された」反転攻勢を深読み【5 月 31 日（水）#報道 1930】
2023/6/3	ABEMA TIMES	モスクワへのドローン攻撃 小泉悠氏「もっと激しくなる可能性も」ウクライナの反転攻勢との関連を分析
2023/6/6	BS フジ	プライムニュース▼【ヘルソン州ダム破壊】小泉悠 x 東野篤子 x 山下裕貴元陸将 ウクライナ最新戦況 徹底分析【ザポリージャ原発冷却に影響も】＜前編＞
2023/6/6	BS フジ	プライムニュース▼【X デーは】小泉悠 x 東野篤子 x 山下裕貴元陸将 ウクライナ反転攻勢の道筋＜後編＞
2023/6/7	日本テレビ	news zero▼【ウクライナ「ダム攻撃」…誰が？目的は？】（出演）
2023/6/8	BS 日テレ	【小泉悠×渡部悦和】ウクライナ反転攻勢開始か南東部トクマクで攻勢・・・ダム決壊“渡河映像”情報戦激しく【深層 NEWS】
2023/6/13	TBS	反転攻勢 当面の目標どこに？ウクライナ軍が抱える“弱点” 元米特殊部隊の証言【6 月 13 日（火）#報道 1930】
2023/6/14	BS フジ	プライムニュース▼【トランプ前大統領が無罪主張】機密文書裁判の行方とアメリカ大統領選への影響＜前編＞
2023/6/14	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠徹底解説】小泉悠 x 岡部芳彦 ウクライナ最新戦況 ワグネルと国防相の確執 反プーチン勢力の実情は＜後編＞
2023/6/21	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠徹底分析】小泉悠 x 東野篤子 ウクライナ最新戦況 徹底分析【ロシア航空戦力にウクライナ苦戦】＜前編＞
2023/6/21	BS フジ	プライムニュース▼【NATO が空軍演習】小泉悠 x 東野篤子 ウクライナ最新戦況 徹底分析【NATO の対応は】＜後編＞

2023/6/26	BS 日テレ	【小泉悠×東野篤子】プリゴジン氏“武装蜂起”の真相とプーチン氏が「暗殺指令」？独自取材「東部戦線」反乱影響で新戦【深層 NEWS】
2023/6/26	テレビ朝日	報道ステーション▼“ワグネルの反乱” 創設者のプリゴジン氏は消息不明 何が起きている？
2023/6/26	読売新聞オンライン	〔深層NEWS〕ワグネルの反乱、プーチン氏が「後で突き落とす可能性」…小泉悠氏
2023/6/27	TBS	大統領と反逆者 2人の言葉 プリゴジンの乱 その後は？【6月27日（火）#報道1930】
2023/7/2	NHK	ワグネル反乱 変貌するロシア軍 - NHK スペシャル
2023/7/5	BS 日テレ	【小泉悠×高橋杉雄】東部戦線にロシア軍18万人以上投入…独自取材ウクライナ軍反転攻勢“最前線”ロシア新突撃部隊も【深層 NEWS】
2023/7/7	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠 x 高橋杉雄が緊急解説】ウクライナ射程160km アメリカ製ミサイル「パトリオット」でロシア領攻撃か<前編>
2023/7/7	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠 x 高橋杉雄が徹底分析】ウクライナ最新戦況 反攻1ヶ月 今後の焦点は<後編>
2023/7/11	TBS	衛星写真から読み解く／戦車大增産 ロシア攻めに転じる可能性は【7月11日（火）#報道1930】
2023/7/13	TBS	ひるおび(出演)
2023/7/14	BS 日テレ	【小泉悠×高橋杉雄×岡部芳彦】ロシア軍少将解任でまた混乱…独自取材ウクライナ元高官「反転攻勢の戦略」捕虜収容所ロシア兵“告白”【深層NEWS】
2023/7/17	TBS	プリゴジン氏にCIA…ウクライナ戦争 今後の“キーマン”【7月17日（月）#報道1930】
2023/7/17	テレ朝 NEWS	グッド！モーニング▼死亡説も出るなか…プリゴジン氏“健在”写真投稿 専門家が指摘する2つの可能性【知っておきたい！】
2023/7/18	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠 x 高橋杉雄解説】9ヶ月ぶり クリミア橋を水上ドローンで爆破 小泉悠 x 高橋杉雄 ウクライナ最新戦況【ロシアも自爆型ドローンで報復攻撃】<前編>

2023/7/18	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠 x 高橋杉雄緊急解説】食糧を武器化に？ウクライナ穀物輸出合意停止の影響 ロシアの思惑とは 小泉悠 x 高橋杉雄 【小麦価格上昇】＜後編＞
2023/7/19	NHK	国際報道 2023 OSINTで戦争を読み解く 軍事専門家・小泉悠氏
2023/7/19	NHK	国際報道 2023▼【動画】ロシア軍の実態に最新の調査手法で迫る 小泉悠氏
2023/7/21	NHK	ニュースウォッチ 9▼▽物価高さまざま影響・夏の風物詩にも変化？▽新型コロナ（出演）
2023/7/23	BS 朝日	【ロシア穀物合意離脱】食糧人質の強硬“黒海封鎖”制裁解除の思惑は◆日曜スクープ◆(2023 年 7 月 23 日)
2023/7/23	読売テレビ	そこまで言って委員会 NP▼AI の是非から最新兵器、火星移住についてまで！各分野の理系スペシャリストたちを緊急招集し、おなじみのメンバーと共に最先端技術の功罪を徹底分析＆徹底討論！
2023/7/25	TBS RADIO	【音声配信】「ロシア軍の軍事侵攻から 1 年 5 か月。ウクライナ戦争の行方はどうなるのか」ゲスト：小泉悠さん▼2023 年 7 月 25 日（火）放送分
2023/7/26	TBS	小麦豊作のロシア…プーチン氏の思惑“食料危機”で変わる各国の回避戦略【7 月 26 日（水）#報道 1930】
2023/8/2	TBS	ロシア政治は 8 月に荒れる… プーチン氏が恐れる国民の“武装化”とは【8 月 2 日（水）#報道 1930】
2023/8/9	TBS	長崎原爆の日に考える核 廃絶はできないのか…“核抑止論”の是非【8 月 9 日（水）#報道 1930】
2023/8/11	BS 日テレ	【小泉悠×山下裕貴×安田菜津紀】ウクライナ軍“苦戦”の理由？独自取材「おとり地雷」ロシア防衛線の実態…連日のモスクワ攻撃ドローン攻防が激化【深層 NEWS】
2023/8/15	NHK	NHK スペシャル「Z 世代と“戦争”」
2023/8/21	BS 日テレ	【小泉悠×兵頭慎治】スウェーデン戦闘機「グリペン」ウクライナ供与へ協議開始…独自取材！ウクライナ軍「長距離ミサイル」秋に在庫切れ危機【深層 NEWS】

2023/8/23	BS フジ	プライムニュース▼侵攻 1 年半…露の誤算 河東 & 小泉が徹底総括 プーチン最新演説分析
2023/8/23	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×河東哲夫が分析】南部で進軍 スロビキン氏解任 ウクライナ最新戦況 2023/8/23 放送＜前編＞
2023/8/23	BS フジ	プライムニュース▼【ロシアが北朝鮮から武器購入？】小泉悠×河東哲夫が分析 兵器をめぐるウクライナ軍とロシア軍 2023/8/23 放送＜後編＞
2023/8/24	NHK	ニュースウォッチ▼プリゴジン氏死亡情報侵攻 1 年半ウクライナ 小泉悠氏が徹底分析▽福島の見聞続けてきた漁業者は処理水放出に（出演）
2023/8/27	テレ朝 NEWS	【プリゴジン氏の搭乗機墜落】政敵粛清に“暗殺説”プーチン氏関与は◆日曜スクープ◆(2023 年 8 月 27 日)
2023/8/27	テレ朝 NEWS	【ザポリージャ南部の拠点到達】防衛線突破で“膠着打開”南下に加速◆日曜スクープ◆(2023 年 8 月 27 日)
2023/8/27	テレ朝 NEWS	【軍需経済化でルーブル安】原油制裁で“財政圧迫”疲弊経済の構図は◆日曜スクープ◆(2023 年 8 月 27 日)
2023/8/31	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠 x 長島純】ロシアがアフリカ接近？背景は【徹底分析】 2023/8/31 放送＜前編＞
2023/8/31	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠 x 長島純】NATO「北方拡大」でロシアは【スウェーデン・フィンランド】 2023/8/31 放送＜後編＞
2023/8/31	ニッポン放送	飯田浩司の OK!Cozy up! ▼2023 年 8 月 31 日（木）W コメントーター：峯村健司、小泉悠
2023/8/31	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠 x 長島純】ロシアがアフリカ接近？背景は【徹底分析】 2023/8/31 放送＜前編＞
2023/8/31	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠 x 長島純】NATO「北方拡大」でロシアは【スウェーデン・フィンランド】 2023/8/31 放送＜後編＞
2023/9/1	BS 日テレ	【ワグネルの今後は】プリゴジン氏の後継者は「優秀な軍人」…プーチン大統領との関係は エリザロフ氏の素顔を徹底分析【深層 NEWS】

2023/9/4	BS フジ	プライムニュース▼【今がウクライナに戦機？】小泉悠×岩田清文 南部戦線突破口 最新戦況 徹底解説 【主力同士の戦いへ？】 2023/9/4 放送＜前編＞
2023/9/4	BS フジ	プライムニュース▼【ロシアに余力なし？】小泉悠×岩田清文 ロシア「大規模軍事演習演習」中止か【ザーパド 2023】2023/9/4 放送＜後編＞
2023/9/7	TBS	なぜ今？米国務長官のキーウ訪問／最前線の兵士証言 ウクライナ反転攻勢の新段階【9月7日（木）#報道 1930】
2023/9/13	テレビ朝日	報道ステーション▼【4年ぶり2度目の #露朝首脳会談 “蜜月”を誇示】（出演）
2023/9/13	テレビ朝日	【報ステ解説】「兵器以外に“労働力”も」プーチン氏自ら歓待“厚遇”の狙い
2023/9/14	TBS	「誤射」相次ぐロシア軍 何が？ 米英ウ極秘会談 新たな反攻作戦とは【9月14日（木）#報道 1930】
2023/9/18	BS フジ	【砲弾足りない？】小泉悠×岩田清文 ロシア望む「北朝鮮兵器」徹底分析 2023/9/18 放送＜前編＞
2023/9/18	BS フジ	【バフムト集落次々奪還】小泉悠×岩田清文 ウクライナ最新戦況【第72自動車化狙撃旅団を完全に破壊】 2023/9/18 放送＜後編＞
2023/9/20	TBS	プーチン氏「高支持率」の裏で…"終身独裁"か？"ポスト・プーチン"到来か？【9月20日（水）#報道 1930】
2023/9/21	BS フジ	プライムニュース▼【ロシア黒海艦隊司令部を攻撃】小泉悠×鶴岡路人×名越健郎 ウクライナ最新戦況 徹底分析【南部戦線に影響？】 2023/9/21 放送＜前編＞
2023/9/21	BS フジ	プライムニュース▼【ポーランド武器供与停止を表明】小泉悠×鶴岡路人×名越健郎 西側陣営のウクライナ支援と連携に亀裂？ 2023/9/21 放送＜後編＞
2023/10/2	BS フジ	プライムニュース▼【トクマク正面 攻防の現状は】小泉悠×岩田清文×小谷哲男 ウクライナ最新戦況 2023/10/2 放送＜前編＞

2023/10/2	BS フジ	プライムニュース▼【日本はどこまで踏み込める？】小泉悠×岩田清文×小谷哲男 ウクライナが各国と武器共同生産 2023/10/2 放送＜後編＞
2023/10/3	BS 日テレ	深層NEWS▽ウクライナ反転攻勢を“軍事地理学”で独自分析！ 山下裕貴×小泉悠
2023/10/3	読売新聞オンライン	〔深層NEWS〕ウクライナ軍の反転攻勢進まなくても「支援する国は忍耐を」…小泉悠氏
2023/10/6	TBS	砲身不足は消耗？ウ軍の作戦？「10月決戦」ロシア軍内部で何が？【10月6日（金）#報道1930】
2023/10/8	テレ朝 NEWS	【プーチン氏が核戦力誇示】核搭載ミサイル“量産化”脅威で欧米牽制◆日曜スクープ◆(2023年10月8日)
2023/10/8	テレ朝 NEWS	【特殊部隊クリミア上陸】黒海艦隊は“本土避難”後退ロシアの防御は◆日曜スクープ◆(2023年10月8日)
2023/10/11	BS フジ	プライムニュース▼プーチン“誤算”のルーツ 「独ソ戦」に見る決断と失敗（出演）
2023/10/11	BS フジ	【ロシアが偽情報を拡散？】小泉悠×河西陽平 緊迫の中東最新情勢 2023/10/11 放送＜前編＞
2023/10/11	BS フジ	【ちゃんとした情報が集まらない？】小泉悠×河西陽平 プーチン“誤算”のルーツ 2023/10/11 放送＜後編＞
2023/10/13	BS11	報道ライブ インサイド OUT 「なぜ侵攻されたのか？！ ウクライナと核」
2023/10/13	BS11	【ウクライナと核】侵攻は9年前に始まった ゲスト：小泉 悠（東京大学先端科学技術研究センター 専任講師）VTR 出演：マリアナ・ブジェリン（ハーバード大学上席研究員）10月13日（金）インサイド OUT
2023/10/13	BS 日テレ	【小泉悠×岩田清文】「数日中に重要作戦」地上戦へ…イスラエル軍侵攻シナリオは？ガザ地区に張り巡らされた“地下トンネル”に苦戦か「110万人退避」緊迫の現地は【深層NEWS】
2023/10/13	読売新聞オンライン	〔深層NEWS〕イスラエル軍地上戦なら「これまでにない規模の民間人の犠牲が出る」…小泉悠氏

2023/10/18	TBS	バイデン大統領がイスラエルに…イランの関与は？元司令官「準備はできている」 【10月18日（火）#報道1930】
2023/10/20	飯田浩司の OK!Cozy up!	2023年10月20日（金）コメンテーター：峯村健司 小泉悠
2023/10/24	BS フジ	【小泉悠徹底分析】ウクライナ 中東 最新情勢 鈴木一人×小泉悠 2023/10/24 放送＜前編＞
2023/10/24	BS フジ	【民間人に対するいかなる暴力も！？】小泉悠×鈴木一人 プーチン 中東戦略 徹底検証 2023/10/24 放送＜後編＞
2023/10/26	TBS	人質数日中に解放？交渉の行方は／ガザ攻撃の衛星写真から見えたこと 【10月26日（木）#報道1930】
2023/10/29	NHK ラジオ第1	著者からの手紙『終わらない戦争(文春新書)』小泉悠
2023/10/31	読売新聞オンライン	〔深層NEWS〕ロシアの攻勢は「有権者への最低限の言い訳になる」との思惑か」…小泉悠氏
2023/10/31	BS 日テレ	【小泉悠×山下裕貴】ウクライナ東部アウディーイウカめぐる攻防“欧州最大”工場がカギに…ウクライナ“防衛部隊”を独自取材 【深層NEWS】
2023/11/1	TBS ラジオ	『荻上チキ・Session』 11月1日(水)
2023/11/7	BS フジ	プライムニュース▼『反撃狙うロシアの標的 中東紛争が起こす誤算 兵頭慎治 小泉悠 松田拓也』
2023/11/7	BS フジ	プライムニュース▼【精鋭部隊がアウディーイウカ意図は】ウクライナ最新戦況 小泉悠×兵頭慎治×松田拓也 【第47機械化旅団】 2023/11/7 放送＜前編＞
2023/11/7	BS フジ	プライムニュース▼【最後の3億ドル？】米政府 ウクライナ追加支援の今後は 小泉悠×兵頭慎治×松田拓也 2023/11/7 放送＜後編＞
2023/11/8	TBS	ウクライナ総司令官が…/「膠着続けば敗戦も…」 【11月8日（水）#報道1930】
2023/11/10	読売新聞オンライン	〔深層NEWS〕ウクライナ軍の反転攻勢「特定の兵器があれば勝てるわけではない」…小泉悠氏

2023/11/10	BS 日テレ	【小泉悠×松村五郎】ロシア元大佐が“危機感”ウクライナ装甲車が渡河作戦成功「無人機量産」で大規模攻撃計画も…プーチン氏露大統領選へ思惑は？【深層 NEWS】
2023/11/12	NHK	日曜討論▼ガザ危機 国際社会は 日本は（鈴木一人、小泉悠）
2023/11/16	TBS	ロ軍 大規模インフラ攻撃か/ウクライナ軍 「冬の反転攻勢」どう戦うのか【11月16日（木）#報道1930】
2023/11/19	テレ朝 NEWS	【ガザ最大病院突入】院内制圧で“ハマス拠点主張”人質解放の協議は◆日曜スクープ◆(2023年11月19日)
2023/11/19	テレ朝 NEWS	【渡河成功で橋頭堡を構築】南部で前進“反攻加速”膠着打開のカギは◆日曜スクープ◆(2023年11月19日)
2023/11/22	NHK	ニュースウォッチ9▽ガザ・人質解放か▽北朝鮮衛星予告期間前に異例の打ち上げ
2023/11/22	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×熊倉潤 徹底解剖】プーチン&習近平の“独裁像”【カレンダーからみえるカリスマ性？】2023/11/22 放送＜前編＞
2023/11/22	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×熊倉潤 徹底分析】中露連携で目指す世界 【“独裁者”に囲まれた日本の備えは】 2023/11/22 放送＜後編＞
2023/11/24	NHK	NHKニュース7 人質解放・戦闘休止 履行の遅れはなぜ？
2023/11/29	TBS	ロシアが画策 それとも…/政権転覆作戦「マイダン3」とは…【11月29日（水）#報道1930】
2023/11/30	BS フジ	【小泉悠×平岩俊司】ロシア北朝鮮 接近の脅威を検証【偵察衛星「万里鏡1号」の実力は】2023/11/30 放送＜前編＞
2023/11/30	BS フジ	【小泉悠徹底解説】ウクライナ最新戦況 【マイナス40度までなら戦闘できる？】2023/11/30 放送
2023/12/3	テレ朝 NEWS	【死傷率が侵攻後最高】ロシア軍損失顧みず“突撃作戦”戦術の背景は◆日曜スクープ◆(2023年12月3日)
2023/12/5	テレ朝 NEWS	ロシア軍“侵攻後最多の死傷者” 犠牲をいとわぬ人海戦術の脅威と思惑

2023/12/11	TBS	ウクライナ大統領 vs 総司令官 深まる溝の一方で… “懇願”されてプーチン氏「出馬宣言」の“茶番”【12月11日（月）#報道1930】
2023/12/13	TBS ラジオ	荻上チキ・Session 特集「プーチン政権によるウクライナ侵攻、2023年の情勢の変化と今後」
2023/12/14	飯田浩司の OK!Cozy up!	2023年12月14日（木）Wコメンテーター 峯村健司、小泉悠
2023/12/18	TBS	ウクライナの連れ去り少年まで/戦場に人を送り込む”ロシアの手口”【12月18日（月）#報道1930】
2023/12/19	テレ朝 NEWS	ロシアのアクロバット機 日本海飛来 記念撮影が目的？ 専門家も「不可解な行動」【グッド！モーニング】(2023年12月19日)
2023/12/22	BS 日テレ	【小泉悠×兵頭慎治】プーチン氏語った2024年戦い「4つの優先課題」露兵器生産能力衰えないワケ…最前線部隊を独自取材、指揮官「砲弾不足」訴え…ウクライナ軍“勝敗”シミュレーション【深層 NEWS】
2023/12/24	BS 朝日	日曜スクープ 拡大4時間 SP～世界を分断“2つの戦争”の行方～
2023/12/25	BS フジ	プライムニュースデラックス▼岸田政権、世界の紛争、習政権3期目 2023年を徹底総括
2023/12/26	TBS	ウクライナ戦争の現在地／プーチン氏が“停戦に関心”その狙いは【12月26日（火）#報道1930】
2023/12/30	TBS	報道の日2023 ～対立する世界～ 戦争×格差×マネー（出演）
2024/1/12	BS 日テレ	【ロシア軍が北朝鮮製ミサイル使用か…近く大規模地上作戦？“飽和攻撃”の狙いウクライナ軍“報復”今後は】小泉悠×兵頭慎治【深層 NEWS】
2024/1/15	TBS	ミサイルの性能実験を「ロシア軍代行」？ 深まる北朝鮮とロシアの連携【1月15日(月) #報道1930】
2024/1/16	飯田浩司の OK!Cozy up!	2024年1月16日（火）コメンテーター：小泉悠

2024/1/17	NHK	ニュースウォッチ 9▼【解説】ロシアと北朝鮮 接近の理由は 小泉悠准教授に聞く
2024/1/22	TBS	オホーツク海のロシアの核は… / ウクライナを敗北させない“プランB”【1月22日(月) #報道 1930】
2024/1/28	テレ朝 NEWS	【ウクライナ戦略守勢に転換か】防衛機軸に戦力回復“反転攻勢” 武器供与で難局打開は【日曜スクープ】(2024年1月28日)
2024/1/29	TBS	プーチン氏と共鳴？トランプ氏 すでに影響も…【1月29日(月) #報道 1930】
2024/1/30	BS フジ	プライムニュース▼ロシア軍機墜落の真相は？米支援が見通せない中でのウ軍の戦略は？ロシア大統領選が迫る中で、両国の今後を小泉悠氏と兵頭慎治氏が徹底分析する。
2024/1/31	飯田浩司の OK!Cozy up!	飯田浩司の OK! Cozy up！ 2024年1月31日(水) コメントーター:峯村健司、小泉悠
2024/2/2	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×日本のホワイトハッカー第一人者】「OSINT」は戦争をどう変えたのか 2024/02/02 放送
2024/2/4	BS フジ	プライムサロン(出演)
2024/2/7	TBS	画像を認識して突っ込む「ロシアはAIドローンを作っている」 【2月7日(水) #報道 1930】
2024/2/9	日テレ	【深層NEWS】岩田清文×小泉悠 ゼレンスキー大統領がザルジニー総司令官の解任を発表。両氏が“笑顔で握手”円満交代アピールの狙いは。ウクライナ侵攻2年で軍指導部刷新表明。前線兵士の士気に影響は。
2024/2/13	BS フジ	【カールソン氏がプーチン氏独占取材】小泉悠×駒木明義 徹底分析 2024/2/13 放送<前編>
2024/2/13	BS フジ	【プーチン氏の選挙戦略】恐怖政治と東アジアへの影響は？ 小泉悠×駒木明義 徹底分析 2024/2/13 放送<後編>
2024/2/19	NHK	NHK ジャーナル◆特集 ウクライナ公共放送幹部が語る 戦時下の放送
2024/2/23	BS11	報道ライブインサイド OUT▼【ウクライナ侵攻から2年】今後の展望は？ゲスト：廣瀬陽子（慶應義塾大学教授）小泉悠（東京大

		学先端科学技術研究センター准教授）倉井高志（元ウクライナ大使）
2024/2/23	TBS	ロシアとウクライナ要人に直撃取材／ウクライナ侵攻から2年 世界の今と今後【2月23日(金) #報道 1930】
2024/2/24	NHK	NHK NEWS▼【詳細】ウクライナへの軍事侵攻から2年 各地の動きは
2024/2/25	NHK	日曜討論▼ウクライナ侵攻2年 揺らぐ世界 戦争終結は
2024/2/26	BS フジ	プライムニュース▼【露ウ戦争3年目突入】この2年の戦況/政治的転機を徹底分析 兵頭慎治×小泉悠 2024/2/26 放送<前編>
2024/2/26	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×兵頭慎治 徹底分析】ウクライナ支援停滞のリスクとは？ 2024/2/26 放送<後編>
2024/2/27	TBS ラジオ	荻上チキ・Session▼特集「小泉悠さんと考える。ロシアによるウクライナ侵攻から2年の現状と展望」
2024/2/29	TBS	報道1930▼総理政倫審で何を語る▼ロ軍関係者に闇で販売、米衛星通信の密輸実態
2024/2/29	TBS	プーチン氏「年次教書」何語る？ なぜ？米「スターリンク」ロ軍が活用【2月29日（木）#報道 1930】
2024/3/1	NHK	ロシア ウクライナ侵攻 プーチン氏の戦争さらに長期化？小泉悠氏がわかりやすく解説 キーウ再侵攻は？ 日本どう対応
2024/3/5	飯田浩司の OK!Cozy up!	飯田浩司の OK! Cozy up ! 2024 年 3 月 5 日（火）コメンテーター:小泉悠
2024/3/6	NHK	2024 年 2 月 25 日放送「ウクライナ侵攻2年 揺らぐ世界 戦争終結は」（前半）
2024/3/6	NHK	2024 年 2 月 25 日放送「ウクライナ侵攻2年 揺らぐ世界 戦争終結は」（後半）
2024/3/12	BS 日テレ	【深層 NEWS】衛星画像で見るウクライナ軍「防衛線」積極的防衛の現状分析▽東部完全制圧狙う露新戦術、改良型「滑空誘導弾」犠牲いとわぬ「人海戦術」▽プーチン氏「核のシナリオ」改良型ツポレフ 160M
2024/3/18	TBS	プーチン氏圧勝の裏側で何が 監視団体「信用できない選挙」不正の手口は…【3月18日(月)#報道 1930】

2024/3/18	NHK	ニュースウォッチ9▽ロシア一方的併合10年クリミア半島の今▽子どもの睡眠不足
2024/3/19	BS フジ	プライムニュース▼【プーチン圧勝】ウクライナ戦況への影響と各国の思惑 杉山晋輔×小泉悠 2024/3/19 放送<前編>
2024/3/19	BS フジ	プライムニュース▼【もしトラとプーチン】中国・北朝鮮との連携と対日戦略は？ 杉山晋輔×小泉悠 2024/3/19 放送<後編>
2024/3/21	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×福田充】戦時に交錯するデマにどう対応？【ロシアが放つデマの脅威とは】 2024/3/21 放送<前編>
2024/3/21	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×福田充】事実より真実が上回る？ SNS との上手な付き合い方とは 2024/3/21 放送<後編>
2024/3/25	NHK	【動画】小泉悠准教授の分析 ロシアの核実験場に動き プーチン大統領の戦略的な核兵器による威嚇とは？
2024/3/27	BS フジ	プライムニュース▼【ロシアはテロに弱い？】IS テロ ロシアが抱える多正面リスク 高田克樹×小泉悠×黒井文太郎 2024/3/27 放送<前編>
2024/3/27	BS フジ	プライムニュース▼【高田克樹×小泉悠×黒井文太郎】火力に見る ウクライナ劣勢のワケ 2024/3/27 放送<後編>
2024/3/28	日テレ	【深層 NEWS】モスクワ銃乱射テロ、小泉悠×青木健太の徹底分析。実行犯タジク国籍の背景。諜報機関が兆候見逃しナゼ？▽プーチン政権“対テロ戦争”の歴史▽プーチン政権「侵攻」と「テロ対策」二正面

③山口亮 特任助教

日付	媒体	番組名・タイトル等
2023/4/4	テレビ朝日	大下容子ワイド！スクランブル(出演)
2023/4/6	読売テレビ	【ヨコスカ解説】蔡総統が米・下院議長と会談、一方習国家主席は仏・マクロン大統領を招待…背景にある中国の“怒り”と“焦り”
2023/4/13	読売テレビ	【ヨコスカ解説】驚異の早さで進む北朝鮮のミサイル開発…その裏には金正恩総書記が恐れる“斬首作戦” Jアラート“訂正”日本は大丈夫？

2023/4/13	テレビ朝日	【報ステ】新型“発射失敗”？北朝鮮ミサイル「レーダーから消失」Jアラートで混乱も
2023/4/27	読売テレビ	かんさい情報ネット ten
2023/4/29	読売テレビ	ウェークアップ▼米韓ワシントン宣言と北朝鮮の核戦力 & 軍事偵察衛星について
2023/5/25	読売テレビ	【ヨコスカ解説】ロシア首相が中国訪問で西側諸国と深まる対立…日本はどうする？NATO との悩ましい距離感
2023/5/29	読売テレビ	【報ステ解説】「ルール守ってるアピールか」狙いは？北朝鮮“衛星ロケット”発射通告(2023 年 5 月 29 日)
2023/7/27	読売テレビ	【ヨコスカ解説】朝鮮戦争休戦 70 年 似て非なる“戦争”だが共通点も…ロシアによるウクライナ軍事侵攻に投げかける教訓とは
2023/7/28	NHK	ニュースウオッチ 9 ▼北朝鮮 軍事パレードの映像公開 軍事力と中朝 3 か国結束誇示
2023/8/18	読売テレビ	【ヨコスカ解説】数々の歴史的合意がなされた、重要外交の舞台「キャンプ・デービッド」いま会談のワケと日米韓が抱く脅威
2023/8/21	NHK	NHK ニュース 7 ▼あす関係閣僚会議開催 処理水放出時期判断へ
2023/8/24	読売テレビ	読売テレビ かんさい情報ネット ten (出演)
2023/9/15	読売テレビ	【ヨコスカ解説】プーチン大統領が金総書記に桁違いの「おもてなし」友好ムードの露朝会談、映像からみる両国の狙い
2023/10/1	NHK	デジタル・アイ 北朝鮮 独裁国家の隠された“リアル” - BS1 スペシャル
2023/11/22	読売テレビ	朝生ワイド す・またん！ Zip！ 「北朝鮮の軍事偵察衛星」
2023/11/22	テレビ朝日	【報ステ解説】「目的は“ミサイルの目”」追加発射も宣言…北朝鮮“偵察衛星”成否は(2023 年 11 月 22 日)
2023/11/23	テレ朝 News	【報ステ解説】「目的は“ミサイルの目”」追加発射も宣言…北朝鮮“偵察衛星”成否は
2023/11/24	読売テレビ	朝生ワイド す・またん！ Zip！ 「北朝鮮の軍事偵察衛星」
2023/11/27	読売テレビ	朝生ワイド す・またん！ Zip！ 「北朝鮮の軍事偵察衛星」
2023/12/12	読売テレビ	朝生ワイド す・またん！ Zip！ 「中国の海洋戦略」
2023/12/13	読売テレビ	朝生ワイド す・またん！ Zip！ 「台湾総統選挙と中国の動き」

2023/12/18	読売テレビ	朝生ワイド す・またん！Zip！ 「北朝鮮のミサイル発射について」
2024/2/9	読売テレビ	【ヨコスカ解説】統一路線を完全に転換か？韓国ドラマを見て「公開裁判」重労働 12 年の刑 国民は飢餓に苦しむ一方ハッカー養成等で外貨獲得に没頭
2024/3/7	NHK	NHK 国際ニュースナビ▼北朝鮮ミサイル なぜ発射？「多様化」のねらいは【3 月 7 日版】

④豊田耕平 連携研究員

日付	媒体	番組名・タイトル等
2023/5/16	テレビ朝日	「大下容子ワイド！スクランブル」（VTR 出演）
2023/10/15	フジテレビ	日曜報道 The Prime

⑤松田拓也 特任研究員

日付	媒体	番組名・タイトル等
2023/10/28	NHK	サタデーウオッチ 9▼アメリカのイスラエル情勢への対応などについて（映像出演）
2023/11/7	BS フジ	プライムニュース▼【精鋭部隊がアウディイウカ意図は】ウクライナ最新戦況 小泉悠×兵頭慎治×松田拓也 【第 47 機械化旅団】2023/11/7 放送＜前編＞
2023/11/7	BS フジ	プライムニュース▼【最後の 3 億ドル？】米政府 ウクライナ追加支援の今後は 小泉悠×兵頭慎治×松田拓也 2023/11/7 放送＜後編＞

2.新聞・雑誌等

①池内恵 教授

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/5/8	政策シンクタンク PHP 総研	歴史的転換点の日本外交：「多極世界」の誘惑に揺れる中東 – 『Voice』2023 年 6 月号特集 –
2023/6/1	スカイニュース アラビア	شرق آسيا وتعدد الأقطاب وأمن العالم... في حوار مع البروفيسور ساتوشي إكي أوتشي

2023/6/12	外務省	外交専門誌『外交』Vol.79 「イラク戦争から 20 年の中東」
2023/6/12	スカイニュース アラビア	شرق آسيا وتعدد الأقطاب وأمن العالم.. في حوار مع البروفيسور ساتوشي إكي أوتشي #برنامج_مواجهة
2023/7/22	Foresight	世界の中でその地位を転じ続ける中東の姿を見続ける 池内恵 の中東通信（会員記事）
2023/7/22	Foresight	非国家主体から国家主体へ 池内恵の中東通信（会員記事）
2023/7/22	Foresight	「脱エスカレーション（de-escalation）」が現在の中東政治の トレンド・キーワード 池内恵の中東通信（会員記事）
2023/8/3	The Jerusalem Post	How do Israel-Japan ties impact the Jewish state in the Middle East?
2023/9/24	dikGAZETE.co m	Türkiye, Çin ve Japonya ilişkilerinin tarihi İstanbul'da düzenlenen konferansta konuşuldu（英タイトル：The history of Türkiye, China and Japan relations was discussed at the conference held in Istanbul）
2023/10/8	Foresight	イスタンブールからイスラエル・ガザの「戦争」を見る：池内恵 池内恵の中東通信
2023/10/10	朝日新聞デジタ ル	試されるバランス外交 岸田首相、イスラエル・パレスチナと協 議調整 [岸田政権]（会員有料記事）
2023/10/11	朝日新聞デジタ ル	バランス外交模索 原油・邦人保護… イスラエル・パレスチナ 双方と電話協議、政府調整（会員有料記事）
2023/11/6	PHP 研究所	Voice 2023 年 12 月号「持たざる国」を襲う地政学リスク 岩瀬 昇・池内恵対談
2023/11/10	日本経済新聞	中東、日本が「等距離」の理由 米欧と一線画しエネルギー外交 （会員有料記事）
2023/12/12	日本経済新聞	ハマス、10 月奇襲を正当化「パレスチナ国家認めよ」（会員有 料記事）
2023/12/19	日本経済新聞	「Think!」3 周年記念イベント「2024 年大予測 激動の世界を読 み解く」 第 1 部（12:00～13:00）イスラエル・ハマス衝突/ロシ アのウクライナ侵攻

②小泉悠 准教授

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/4/4	ニューズウィーク日本版	小泉悠×河東哲夫・超分析「仮に停戦してもウクライナが破る可能性もある」
2023/4/4	ニューズウィーク日本版	プーチンの恥部を知っている男、ガバナンスが失われつつあるロシア 河東哲夫×小泉悠
2023/4/7	ニューズウィーク日本版	【小泉悠×河東哲夫 超対談】ウクライナ戦争の「天王山」と知られざる爆破陰謀論（前編／全3回）
2023/4/13	FRIDAY デジタル	小泉 悠 × 東野篤子 スペシャリスト2人が大議論「プーチン大統領が”チェゲト”を開くとき」
2023/4/14	ニューズウィーク日本版	【小泉悠×河東哲夫 超対談】制裁の影響、銃後ロシアの戦意・士気は？プーチンら KGB 出身者たちが持つ「謎の世界観」（中編／全3回）
2023/4/20	北海道新聞	ロシア太平洋艦隊の演習、複数の狙い 原潜訓練、過去最大規模か 小泉悠・東大先端科学技術研究センター専任講師（有料記事）
2023/4/24	EnterpriseZine	小泉悠氏と伊東寛氏が徹底討論 ウクライナを巡るサイバー戦、今後日本にも起こり得る有事へどう備えるか
2023/4/27	PRESIDENT Online	ロシアは負けそうになったら核兵器を使う…それでも「ハルキウの敗北」でプーチンが核を使わなかった理由 手段はあるし、研究もしていたし、訓練では何回もやっている
2023/4/30	日本経済新聞	核の威嚇戦略、ロシア幅広く利用 小泉悠・東大専任講師（有料記事）
2023/5/9	自由民主党	「あらゆる情報把握し対策を」経済安保本部が小泉悠氏からヒアリング
2023/5/13	朝日新聞デジタル	「異例中の異例」動員の内実は 小泉悠氏が証言から読み解くワグネル [ウクライナ情勢]
2023/5/19	新潮社 Foresight	強化される「オホーツクの要塞」――極東ロシア軍の実像と日本の安全保障：小泉悠
2023/5/27	毎日新聞デジタル	「ロシアが日本侵攻」報道を打ち消した小泉悠さん 職人芸の分析手法（有料記事）

2023/6/6	PHP 研究所	Voice 2023 年 7 月号▼今も続くロシアの「いちばん長い日」小泉 悠&與那覇 潤
2023/6/13	朝日新聞デジタル	衛星が見せる反転攻勢 ウクライナ軍が砲撃か 小泉悠氏が読み解く [ウクライナ情勢]
2023/6/20	NHK	ウクライナ反転攻勢 最新状況は？ロシア軍ウォッチャーが分析
2023/6/24	日本海新聞	戦争、日本ならどうなる 小泉氏、安全保障テーマに 日本海政経懇話会中・西部例会（有料記事）
2023/6/25	毎日新聞デジタル	プリゴジン氏撤収 識者「諦めるかは分からず」「一定の勝利」
2023/6/30	Foresight	「プリゴジンの乱」は「プーチンの終わりの始まり」のようには見えない
2023/7/1	山形新聞	戦争、再来年まで続く 東京大先端科学技術研究センター専任講師・小泉悠氏が講演
2023/7/1	二松學舎大学	二松學舎大学ニュースマガジン「學」vol.65 特集「一ロシア・ウクライナ問題から考えるー 世界の中にいる私 国境とアイデンティティ」
2023/7/9	文藝春秋 電子版	プーチンが元気ないぞ
2023/7/23	文春オンライン	《「タマとったる！」から一転》小泉悠・高橋杉雄が感じ取った「プーチンの弱気」
2023/7/28	Real Sound	軍事評論家 小泉悠が観た『GCHQ：英国サイバー諜報局』 日本が直面するシナリオに近い？
2023/8/4	毎日新聞デジタル	論点：戦争と平和 ウクライナ情勢と国益 インタビュー 小泉悠・東京大専任講師
2023/8/5	二松學舎大学	『學 vol.65』特集：ロシア・ウクライナ問題から考えるー世界の中にいる私 国境とアイデンティティ
2023/8/9	じんぶん堂	「合理性」と「非合理性」から読み解く国際政治——小泉悠さん・評『「個人化」する権威主義体制』
2023/8/31	共同通信	北方領土からミサイル搬出と分析 ロシア軍、ウクライナ戦に転用か
2023/8/31	共同通信	Russia has moved missiles off isles disputed with Japan: expert

2023/9/7	文春オンライン	〈プーチンが本気で“終身独裁”を狙い始めた？〉プリゴジンが“他の暗殺とは扱いが違う”理由
2023/9/8	軍事研究	「軍事研究」2023年10月号 「総力戦体制に舵を切るロシア」 小泉悠
2023/9/22	山陰中央新報デジタル	ロシアとウクライナ、そして世界はどこへ向かうのか エネルギー、平和構築、軍事研究の専門家3人に聞く
2023/9/25	Forbes JAPAN	Forbes JAPAN 2023年11月号 北野唯我「未来の職業道」ファイル 小泉悠／軍事アナリスト ロシアのウクライナ侵攻はなぜ起きたか？
2023/9/27	47NEWS	ロシアとウクライナ、そして世界はどこへ向かうのか エネルギー、平和構築、軍事研究の専門家3人に聞く
2023/9/29	月刊軍事研究	2023年11月号別冊『ウクライナ戦争大反撃戦』 軍改革から探る「ウクライナ軍強さの秘密」…小泉悠
2023/10/21	読売新聞オンライン	ウクライナの被害記録を可視化「戦争は嫌だという思い継承される」…東大・渡邊英徳教授・小泉悠専任講師
2023/10/27	朝日新聞デジタル	ガザ情勢、ウクライナはどうすべきだった？ 小泉悠氏の視点（有料記事）
2023/11/4	Forbes JAPAN	ロシアのウクライナ侵攻は、なぜ起きたか？ 専門家が語る「これからの安全保障」
2023/11/10	軍事研究	軍事研究 2023年12月号 小泉悠「ショイグ計画による『ロシア軍改革』」▼ 消耗戦に陥った戦時下で進む部隊改編と新設。ショイグ計画の実態と将来を考察
2023/11/16	新潮社 Foresight	「冷戦終結なんて大したことはない」――なぜ高坂正堯は「ベルリンの壁」崩壊直後に戦争の再来を〈予言〉できたのか 田所昌幸×細谷雄一×小泉悠
2023/12/19	日本経済新聞	「Think!」3周年記念イベント「2024年大予測 激動の世界を読み解く」 第1部（12:00～13:00）イスラエル・ハマス衝突/ロシアのウクライナ侵攻
2023/12/21	朝日新聞デジタル	反転攻勢「失敗」のウクライナ、50万人動員検討の背景は 小泉悠氏 [ウクライナ情勢]

2023/12/22	日経ビジネス	ウクライナ「継戦も地獄、停戦も地獄」 小泉悠氏が読む戦況 (会員有料記事)
2023/12/26	日本経済新聞	2024 年大予測 激動の世界を読み解く
2023/12/27	産経ニュース	「正論」欄の執筆陣、新たに 11 人を迎える さまざまな分野 の第一線で活躍する専門家
2024/1/10	軍事研究	「軍事研究」2024 年 2 月号:「ロシアの継戦能力は何故尽き ないのか？」
2024/2/1	産業経済新聞社	正論 2024 年 03 月号 ■斎藤 勉×小泉 悠／戦争は 4 年目突 入へ 日本に何ができるか
2024/2/8	朝日新聞デジ タル	第 1 回:人はなぜ「破滅」にひかれるのか 沼野恭子氏の問い と小泉悠氏の反省 (会員有料記事)
2024/2/9	朝日新聞デジ タル	第 2 回:ロシアの歴史はなぜ「極端」に振れてきたか 沼野恭 子氏が唱える仮説 (有料会員記事)
2024/2/9	産経ニュース	<正論>ウクライナに日本ができること 東京大学先端科学 技術研究センター准教授・小泉悠 (有料会員記事)
2024/2/19	HTB 北海道ニ ュース	ルール無視に管理体制の甘さも 自衛隊から払い下げられた高 機動車を追跡して見えてきた実態とは
2024/2/22	共同通信社	「特集」ウクライナ戦争 「地政学」を問う私たちはどんな世界 に生きたいか
2024/2/23	朝日新聞デジ タル	小泉悠氏・沼野恭子氏が異色の対談 ウクライナ侵攻 2 年
2024/2/23	日本経済新聞	ロシアの兵器産業崩れず 戦時動員と迂回調達で持続 (会員記 事)
2024/2/23	産経ニュース	日本のウクライナ支援、国益のために必要 東京大先端科学技 術研究センター・小泉悠准教授 ウクライナ侵略から 2 年 (有 料会員記事)
2024/2/24	ダイヤモンド・ オンライン	ドローン戦争と旧来型消耗戦「ウクライナが再び耐える年に」 小泉悠氏が読む戦争 3 年目 小泉悠・東京大学先端科学技術研 究センター准教授インタビュー (前編)

2024/2/25	ダイヤモンド・オンライン	「核の時代でも侵略戦争は起きた」ウクライナ戦争から日本が学ぶべき安全保障の教訓 小泉悠・東京大学先端科学技術研究センター准教授インタビュー（後編）
2024/2/25	日本経済新聞	軍事評論家・小泉悠さん 平和を願い、安全保障を論ずる（有料会員記事）
2024/2/28	Numero TOKYO	【最新号】ヌメロ・トウキョウ 2024 年 4 月号「Mother Nature」 戦争と平和について考えよう
2024/3/8	月刊軍事研究	「軍事研究」4 月号 ウクライナ軍総司令官交代の真相 小泉悠
2024/3/13	中央公論.jp	細谷雄一×東野篤子×小泉 悠「ウクライナ戦争が変えた日本の言論地図」
2024/3/22	経済界	経済界 2024 年 5 月号▼「日本の軍事力の欠点は兵器の生産・復帰能力」
2024/3/25	NEWS ポストセブン	週刊ポスト 2024 年 4 月 5 日号◆プーチン圧勝で「新・悪の枢軸」（ロシア／北朝鮮／イラン）誕生 ・小泉悠
2024/3/27	NEWS ポストセブン	プーチン氏、大統領選圧勝で事実上の「スターリン超え終身独裁」へ ウクライナ戦争は長期化必至、注視すべきはロシア優位を支える北朝鮮とイラン

③国末憲人 特任教授

日付	媒体	紙面、雑誌名
2024/1/17	公益産業研究調査会	『公研』2024 年 1 月号 プチ「特別軍事作戦」症候群／国末憲人
2024/1/19	Foresight	ナゴルノ・カラバフ紛争の基層に根ざす「マトリョーシカ・ナショナリズム」：国末憲人
2024/2/13	nippon.com	足並み乱れる各国、鍵は長期的なアプローチに一欧州から見たガザ紛争
2024/2/14	Foresight	初のカトリック系首相が導く？ 北アイルランド「非承認国家」としての繁栄への道：国末憲人
2024/3/29	外交	『外交』Vol.84 Mar./Apr. 2024▼座談会「一〇年戦争」がもたらした国際社会の変質

2024/4/4	日本新聞協会	『新聞研究』目次 2024 年 4 月号 (No.863) ▼激動の時代の組織ジャーナリズム——ロシア・ウクライナ戦争が問う使命
----------	--------	--

④山口亮 特任助教

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/4/5	NK PRO	How GSOMIA can springboard better deterrence efforts against North Korea
2023/4/12	Deutsche Welle (ドイツ)	Macron's comments in China cause concern in Japan
2023/4/14	NK NEWS	Leaked US documents raise questions about North Korea's missile capabilities
2023/4/24	NK NEWS	Tokyo orders military to shoot down debris from North Korean satellite launch
2023/4/26	NK NEWS	North Korean nukes and deterrence doubts loom as Yoon and Biden set to meet
2023/5/4	NK NEWS	US invited ROK and Japanese admirals aboard nuclear submarine, new photos show
2023/5/8	NK NEWS	Seoul says Japan could be included in US-ROK nuclear planning, then backtracks
2023/5/8	9DASHLINE	Japan's defence plans: What matters is implementation
2023/5/16	South China Morning Post	Could US-Japan-South Korea meeting lead to Washington Declaration's extension?
2023/5/23	NK PRO	By linking radars, ROK and Japan reduce blind spots around North Korean missiles
2023/6/2	時事ドットコム	衛星打ち上げ、I C B M技術利用 写真公開で正当性訴え—北朝鮮
2023/6/6	South China Morning Post	Japan mulls erasing tattoo ban as military struggles to attract young recruits
2023/6/29	thanhnien.vn	Ngoại giao cây tre Việt Nam giữa biến động toàn cầu
2023/6/30	South China Morning Post	Does Taiwan official's Japan visit reflect 'new reality' of Tokyo-Taipei ties?

2023/7/2	South China Morning Post	China stokes tensions, opposition to US bases in Japan's Okinawa
2023/7/6	The Japan Times	Defense engagement between Japan and Italy picks up pace
2023/7/10	NK NEWS	North Korea accuses Japan of bribing IAEA to approve Fukushima water discharge
2023/7/25	The Japan Times	Nuclear Consultative Group strengthens Northeast Asian deterrence
2023/7/27	South China Morning Post	Japan seeks to ease arms export rules in bid to be 'good actor' in Ukraine war
2023/7/28	NK NEWS	Why North Korea played favorites with Russia over China at military parade
2023/7/28	NK PRO	How North Korea's new advanced drones change the game for the US and ROK
2023/8/4	South China Morning Post	Can Japan and South Korea seal 'historic' security alliance at US summit?
2023/8/17	DW	Japan's tech industry needs Africa's critical mineral
2023/8/18	Newsweek	How China, Russia, North Korea can counter Biden's Asia allies defense pact
2023/8/28	NK PRO	What North Korea's new copycat drones may owe to friends and cyber spies
2023/8/29	South China Morning Post	Will transparency over Fukushima water test results help Japan win back critics?
2023/8/30	NK PRO	Chinese ships appears to join race to recover North Korean space rocket wreckage
2023/9/12	新潮社 Foresight	北朝鮮が「軍事偵察衛星」打ち上げで追求する「非対称戦重視」を正確に捉えよ
2023/9/13	NK PRO	How Russian help could enable North Korea's space program to finally lift off
2023/9/20	NK PRO	Why interoperability remains a hurdle for trilateral cooperation on North Korea

2023/9/27	NK PRO	North Korea faces daunting challenge in modernizing its archaic naval fleet
2023/10/3	クーリエ・ジャポン	北朝鮮の後継者と目される、金ジュエ（とされる少女）の「三位一体」説とは？ 金正恩の娘が使い分ける「3つの顔」
2023/10/5	NK NEWS	North Korean hackers targeting ROK shipbuilders to bolster navy, Seoul says
2023/10/17	South China Morning Post	Japan-South Korea ties ‘positive’ after Israel evacuation aid, but could a new leader ‘turn things upside down’?
2023/10/25	South China Morning Post	Israel-Gaza war: can Japan leverage its Middle East ties to create dialogue, defuse tensions?
2023/10/26	NK NEWS	US, ROK and Japan condemn North Korean arms sales to Russia in joint statement
2023/11/2	South China Morning Post	Japan remembers China’s ex-premier Li Keqiang as not seeing ‘Japanese as evil’
2023/11/6	NK NEWS	US, South Korea and Japan to form council to counter North Korean cyber threats
2023/11/8	NK NEWS	G7 foreign ministers condemn alleged North Korean weapons sales to Russia
2023/11/9	NK NEWS	Why North Korea would supply Russia with short-range ballistic missiles
2023/11/22	NK NEWS	Russian VIP military jetliner flies to North Korea hours after satellite launch
2023/12/9	NK NEWS	US, ROK and Japan start real-time data sharing on North Korean missile launches
2023/12/31	NK NEWS	North Korea to launch three more spy satellites in 2024, Kim Jong Un says
2024/1/8	South China Morning Post	Japan’s record defence budget, US Patriot missile deal rankle pacifists
2024/1/14	中央社 CNA	美智库分析台湾選後情勢：中國胡蘿蔔棒子手段難料
2024/1/14	South China Morning Post	Russia’s Putin ‘giving Japan two fingers’ with pledged trip to disputed islands

2024/1/20	South China Morning Post	As North Korea slams Japan troops' shrine trip, Seoul and China stay silent
2024/1/22	信濃毎日新聞デジタル	海から遠い佐久市と安全保障のつながりは 市内在住の研究者 わかりやすく解説へ来月フォーラム
2024/1/29	South China Morning Post	Putin's proposed Pyongyang trip reveals Russia's growing reliance on North Korea
2024/2/2	The Japan Times	Japan starts 2024 with flurry of security deals
2024/2/9	thanhnien.vn	Tâm vốc Việt Nam giữa thế giới đầy thách thức
2024/2/12	South China Morning Post	Japan risks losing trust of US, other allies over its 'serious' cybersecurity flaws, minister warns
2024/2/19	South China Morning Post	'Natural' for Japan to play larger Aukus role, but likely not as partner
2024/2/22	South China Morning Post	Can Japan build ties with North Korea if Pyongyang avoids abduction issue?
2024/3/1	The Japan Times	New drone tech in spotlight as Japan eyes boosted capabilities
2024/3/19	South China Morning Post	Can a new South Korea-Japan agreement take bilateral ties to the next level?
2024/3/29	海上自衛隊幹部学校	海幹校戦略研究 第13巻第2号（通巻第27号）2024年3月▼ 山口亮 「Optimizing Joint Operational Readiness: Lessons for Japan」

⑤西山美久 特任助教

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/11/10	北海道文化放送	教室で銃を構える子どもたちー「実射訓練」 「欧米のSNSはフェイク」 “ロシアの学びや”で広まるプロパガンダ教育のいま
2024/3/18	時事ドットコム	侵攻正当化と締め付け続く ロシア大統領選・識者談話

⑥豊田耕平 連携研究員

日付	媒体	紙面、雑誌名
----	----	--------

2023/5/8	新潮社 Foresight	イスラエル「対中東・東地中海外交」のカギ「リヴァイアサンガス田」の現在地：豊田耕平（会員記事）
2023/7/27	新潮社 Foresight	イラクが進める「欧州市場シフト」と石油開発での「中国一本化」
2023/10/24	新潮社 Foresight	「天然ガスハブ」の幻想を操るトルコ：豊田耕平
2024/1/2	新潮社 Foresight	東地中海ガス開発「政治主導」の脆弱さに加わる「イスラエル・ハマース戦争」：豊田耕平 立ち上がる中東エネルギー新秩序
2024/2/27	新潮社 Foresight	「中東非産油国」の水素ポテンシャルを引き出す欧州：ただし、その関係は真に「互恵的」なのか：豊田耕平
2024/3/1	日刊工業新聞	エネルギー解体新書（10）イラク新政権下の石油・ガス動向（有料会員記事）

⑦田中祐真 特任研究員

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/10/16	新潮社 Foresight	いまロシア FSB が握る「ポスト・プーチン」のキーファクター：「大統領排除」が唯一可能な組織の影響力：田中祐真
2023/10/26	新潮社 Foresight	ナゴルノ・カラバフの「平定」と消滅：なぜ今、アゼルバイジャンは行動したのか
2023/11/22	新潮社 Foresight	ウクライナ EU 加盟への重要課題、「言語・民族問題」の歴史と現在
2024/2/20	ロシア NIS 調査月報	ロシア NIS 調査月報 2024 年 3 月号 特集◆ロシア・ウクライナをめぐる地政学と地経学「調査レポート 2 年間の戦時体制下におけるウクライナ内政—ゼレンスキー政権の迎える試練—」
2024/3/15	新潮社 Foresight	軍総司令官解任から駐英大使任命へ、「ザルジニー人事」に垣間見える「チーム・ゼレンスキー」の不安と目算：田中祐真

⑧田中周 特任研究員

日付	媒体	紙面、雑誌名
----	----	--------

2023/5/18	朝日新聞デジタル	中国と中央アジア 5 カ国、どんな関係？ 首脳会議で何が語られるのか（会員有料記事）
-----------	----------	--

⑨松田拓也 特任研究員

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/11/7	NIKKEI Asia	Japan treads carefully as Israel-Hamas war tops home G7 agenda
2023/11/10	新潮社 Foresight	《イスラエル・ハマス大規模衝突》「アフガン、イラク泥沼化」の教訓は中東の戦火拡大を防げるか：松田拓也
2023/11/21	NIKKEI Asia	Red Sea ship hijacking delivers a warning on supply chain risks
2023/11/22	War on the Rocks	Rewind and Reconnoiter: The U.S.-Japanese-Korean Relationship with Takuya Matsuda and Jaehan Park - War on the Rocks
2023/12/20	Asia Pacific Initiative	イスラエル・ハマス戦争とアメリカの中東戦略（地経学ブリーフィング・松田拓也）
2024/1/23	国際安全保障防衛センター（ICDS）	What to Do When Partners Share Threats and Challenges But Do Not Agree on Priorities?
2024/3/18	公研	『公研』2024 年 3 月号▼「選挙イヤー」と二つの戦争 民主主義の選択は世界をどこに導くのか？（細谷雄一先生との対談）
2024/3/29	外交	外交 vol.84 2024 年 3/4 月号▼ガザ紛争と米・イスラエル「特別な関係」の政治力学

3. 外国シンクタンク・有識者等との連携、ネットワークを通じた国際世論の醸成への貢献（若手人材の参画を含む）

若手人材の育成

本事業では、発展型総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」、発展型総合事業「国際理念と秩序の潮流:日本の安全保障戦略の課題」と連携しながら、研究能力、対外発信能力を育成すべく、パーマネントのポストを持たない若手の人材を積極的に登用しているほか、インターンの採用による次世代

人材の発掘・育成を行なっている。とりわけ、本事業では主として以下のプログラムを実施した。

(1) インターン制度の導入 (3 事業共通)

本事業では、3 か月ごとにインターンを採用しており、秋季インターン及び冬季インターンとして以下の9名を採用した。いずれも高い英語能力を有し、ROLES 助教・研究員の下で、調査研究支援や、国際ワークショップの企画運営に参画している。

平田 拓海	早稲田大学大学院政治学研究科修士課程
大木 有容	東京大学法学部第三類政治コース (秋季のみ)
林 奈都美	早稲田大学国際教養学部国際教養学科
宇野 真佑子	東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻博士課程 (秋季のみ)
長谷川 航太	早稲田大学大学院政治学研究科修士課程政治学専攻政治学コース
粕尾 瑞規	早稲田大学社会科学部社会科学科
小倉 夏子	東京大学公共政策大学院修士課程 (冬季のみ)
平井 和実	慶應義塾大学 法学部政治学科 (冬季のみ)
松浦 祐樹	東京大学教養学部教養学科総合社会科学分科国際関係論コース (冬季のみ)

(2) 徳之島国際ユースキャンプ (Tokunoshima International Youth Camp)

※本イベントは、奄美群島返還 70 周年記念事業として、分科会「戦後日本外交の歴史的
研究」と発展型総合事業「国際理念と秩序の潮流:日本の安全保障戦略の課題」研究会「宗教
と社会の関係の検証と再構築」の合同で実施した。

【日時】2024 年 1 月 28 日 (日) ~2 月 2 日 (金)

【場所】鹿児島県大島郡伊仙町、他徳之島内各所

【参加者／参加人数】

済州大学学生： キム・ソンヒョン

チョウ・スジン

ヨム・ヒョンジュ

サラエボ大学学生：ベルミン・デリッチ

イネラ・スバシッチ

デアン・ジェビッチ

鹿児島大学学生：要田 ののか

田畑 絢香
 高見 龍輝
 東京大学学生： 坪井 俊樹
 山田 絵玲沙
 犬塚 悠太
 和田 知之

【概要（プログラム）】

1月28日（日）参加者伊仙町到着
 1月29日（月）開会式（伊仙町長および教育長挨拶）、徳之島の歴史についての講演
 1月30日（火）戦艦大和慰霊碑等、徳之島島内の主に太平洋戦争に関連した史跡見学
 1月31日（水）サラエボ大学および済州大学の教員による公開講演会
 2月1日（木）参加学生によるディスカッションと発表会、島内小中高生との交流会
 2月2日（金）参加者伊仙町出発

外国シンクタンク・有識者等との連携及びネットワークを通じた国際世論の醸成

本事業では、上記目的を達成するため、以下の通り本事業が単独または「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」「国際理念と秩序の潮流」と連携しながら、外国有識者、シンクタンクとの非公開／小規模ワークショップの開催を以下の通り実施した。

日時	イベント名	参加者（所属）	形式	備考
2023/7/14	クローズドセミナー@京都大学東南アジア研究所「非西欧世界における自由民主主義の可能性と限界:2023年5月のタイ総選挙の結果から考える」	待鳥聡史(京都大学)、パンディット・チャンロチャナキット(チュラロンコン大学)、チャーンビット・カセツィリ(タマサート大学)、パビン・チャチャヴァルポンブン(京都大学 CSEAS)、ヴィエンラット・ネティポ(チュラロンコン大学/首都大学)、アナン・クルドフェット(タマサート大学)	対面	タスクフォース 「自由・民主主義分析の実証的方法と応用」を中心に実施

日時	イベント名	参加者（所属）	形式	備考
2023/9/26	日本・トルコ戦略対話「ウクライナ戦争と国際秩序の未来：日本とトルコの視野と構想」 ※本イベントは招待者のみ参加	池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）、今井宏平（日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員/中東工科大学客員研究員）、岩間陽子（政策研究大学院大学教授）、遠藤乾（東京大学大学院法学政治学研究科教授）、川島真（東京大学大学院総合文化研究科教授）、東野篤子（筑波大学大学院人文社会科学研究科教授）、小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）、鈴木一人（東京大学公共政策大学院教授）、早丸一真（東京大学先端科学技術研究センター・特任助教）、木村風雅（東京大学中東地域研究センター）、豊田耕平（東京大学先端科学技術研究センター連携研究員）、ヒュセイン・バージュ、メリハ・アルトゥンウシュク、バハドゥル・ペフリヴァントウルク、ハルドゥーン・ヤルジュンカヤ、ミタット・ジェリクパラ、ムラト・デミレル、井上貴文、ドアチ・ギュルセル、勝亦孝彦、大使館政務班 6 名等 30 名が参加	対面	「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」「国際理念と秩序の潮流」との合同開催

日時	イベント名	参加者（所属）	形式	備考
2024/2/15	<u>国際セミナー“Changes in Thai politics and administration, and its future prospect”（タイ政治と行政の変化、その将来的展望について）</u>	外山文子（筑波大学人文社会系准教授）、ワサン・ルアンプラパット（タムマサート大学政治学部 准教授）、プラウィット・ワタナスック（タムマサート大学政治学部講師）、カムラングパット・チャチャダー（公共政策大学院大学博士課程）、永井史男（大阪公立大学）、一般参加者 5 名の計 10 名	対面	タスクフォース 「自由・民主主義分析の実証的方法と応用」を中心に実施
2024/2/18	タルトゥ大学ナルヴァ校 (University of Tartu, Narva College)での非公開 ディスカッション	Ikuru Kuwajima(Narva Art Residency, Resident artist)、Vladimir(Nart)、Anastassia Tuuder(Narva college,head of international relations)、Mihhail Komasko(ERR Narva studio-Raadio4andETV+,editor,radio and tv host)、Rane Adramson(member of vounteers organization Kreenholm new development incubator KRUVI)、Roman Vikulov(newspaper Narvskaja Gazeta,journalist)、Sergei Tsvetkov、Denis Girenko、Ivan Polynin、アンドレイ・タルトゥ（大学教授）、Masha Pryven（ウクライナ人ジャーナリスト、アーティスト）	対面	タスクフォース 「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」を中心に実施。

日時	イベント名	参加者（所属）	形式	備考
2024/2/19	国際セミナー：エストニア・タリンのタルトゥ大学 Skytte 研究所、Asian Center Social Science Department、ウクライナセンターとの合同セッション	【エストニア側】参加者 22 名 Margit Keller (Dean of the Faculty of Social Sciences) Kristiina Tõnnisson (Head of the Johan Skytte Institute for Policy Studies) Piret Ehin (Johan Skytte Institute) Dmytro Khutkyy (Ukraine Center) 【日本側】11 名 東野篤子（筑波大学教授）、川島真（東京大学教授）、池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）、小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター准教授）、国末憲人（東京大学先端科学技術研究センター特任教授）、保坂三四郎（エストニア国際防衛安全保障センター研究員）、西山美久（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）、田中祐真（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）	対面	タスクフォース 「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」を中心にタルトゥ大学で実施。

日時	イベント名	参加者（所属）	形式	備考
2024/2/20	日本・エストニア戦略対話 (ICDS-ROLES Expert Dialogue)	【ICDS】9名 Indrek Kannik (Director) Kristi Raik (Deputy Director / Head of Foreign Policy Programme) Tony Lawrence (Head of Defence Policy & Strategy Programme / Research Fellow) James Sherr OBE (Honorary Fellow) Ivan U. K. Klyszcz (Research Fellow) Nele Loorents (Research Fellow) Ivo Juurvee (Non-Resident Research Fellow) 【日本側】8名 東野篤子（筑波大学教授）、川島 真（東京大学教授）、池内恵（東 京大学先端科学技術研究センター 教授）、小泉悠（東京大学先端科 学技術研究センター准教授）、国 末憲人（東京大学先端科学技術研 究センター特任教授）、保坂三四 郎（エストニア国際防衛安全保障 センター研究員）、西山美久（東 京大学先端科学技術研究センター 特任助教）、田中祐真（東京大学 先端科学技術研究センター特任研 究員）	対面	タスクフ ォース 「東欧、 中・東 欧、バル カン諸国 の自由・ 民主主義 の帰趨」 を中心に 国際防衛 安全保障 センター (ICDS) で実施。

日時	イベント名	参加者（所属）	形式	備考
2024/2/22	国際防衛安全保障センター (ICDS)副所長らとの意見 交換	【ICDS】2名 Kristi Raik (Deputy Director / Head of Foreign Policy Programme) Dr. Elena Atanassova-Cornelis (ICDS Japan Chair) 【日本側】8名 東野篤子（筑波大学教授）、川島 真（東京大学教授）、池内恵（東 京大学先端科学技術研究センター 教授）、小泉悠（東京大学先端科 学技術研究センター准教授）、国 末憲人（東京大学先端科学技術研 究センター特任教授）、保坂三四 郎（エストニア国際防衛安全保障 センター研究員）、西山美久（東 京大学先端科学技術研究センター 特任助教）、田中祐真（東京大学 先端科学技術研究センター特任研 究員）	対面	タスクフ ォース 「東欧、 中・東 欧、バル カン諸国 の自由・ 民主主義 の帰趨」 を中心に 国際防衛 安全保障 センター (ICDS) で実施。

4. 国際的な議論を先導するシンポジウムの開催

本事業が単独または「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」「国際理念と秩序の潮流」と連携して実施した国際シンポジウムは以下の通り。

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前 登録	当日 参加
2023/9/25	<u>イスタンブール公開 シンポジウム：「ウ クライナ戦争の挑戦 ーそれは世界に何 をもたらしたのか、 日本とトルコに何が できるのか」</u>	池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）、東野篤子（筑波大学大学院人文社会科学研究所教授）、小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）、岩間陽子（政策研究大学院大学教授）、鈴木一人（東京大学公共政策大学院教授）、遠藤乾（東京大学大学院法学政治学研究科教授）、今井宏平（日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員）、チャール・エルハン（アルトゥンバシュ大学学長）、タルハ・キョゼ（イブン・ハルドゥーン大学准教授/SETA 上級研究員）	対面	「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」「国際理念と秩序の潮流」との合同開催	91	約 25 名

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前 登録	当日 参加
2023/11/8	シンポジウム「ロシアによるウクライナ侵略と『ヨーロッパの東』」	池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）、東野篤子（筑波大学教授）、国末憲人（朝日新聞論説委員・東大先端研客員上級研究員）、西山美久（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）、田中祐真（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）、小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）	ハイブリッド	タスクフォース「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」を中心に実施	570	359
2023/12/1	国連墓地映画上映会	李京玟（韓国放送公社KBS プロデューサー）、李貞善（東京大学大学院人文社会系研究科研究員）、西村明（東京大学大学院人文社会系研究科准教授）	対面	「国際理念と秩序の潮流」研究会 「宗教と社会の関係の検証と再構築」と分科会「戦後日本外交の歴史的研究」との合同開催	55	23

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前 登録	当日 参加
2023/12/13	ファクトチェック国際シンポジウム「認知領域安全保障のためにファクトチェックには何ができるか？」	小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター准教授）、陣内一樹（Code for Japan 副代表理事）、高森雅和（株式会社 Dafna 社長、株式会社 Japan Nexus Intelligence）、Osnat MOKRYN（ハーバード大学客員研究員、ハイファ大学終身上級講師）、Itai JONAT（Intercept 9500 Ltd 創設者兼 CEO）、游知澔（一橋大学グローバル・ガバナンス研究センター法学研究科客員研究員、台湾情報環境研究センター（IORG）共同ディレクター）、桒原響子（日本国際問題研究所研究員）、田和樹（作家、明治大学サイバーセキュリティ研究所客員研究員）	ハイブリッド	「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」分科会「情報・認知領域の安全保障」とタスクフォース「言説空間分析の文理横断的方法と応用」との合同開催	36	25

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前 登録	当日 参加
2024/2/21	川島真教授によるタ リン大学での公開講 座	川島真（東京大学教 授）、池内恵（東京大学 先端科学技術研究センタ ー教授） Dr. Terry McDonald （TLU School of Governance, Law and Society）、 Dr. Elena Atanassova- Cornelis（ICDS Japan Chair ）	対面	タルトゥ 大学で実 施。	-	22

3-2 事業の実施状況・成果の定量的概要

【調査】

- ・情報収集・調査実施回数：47回（研究会合＋ヒアリング）

）

【会議】

- ・研究会の実施数：42回
- ・シンポジウム／セミナー／ワークショップ等の主催・共催数：12回
- ・他団体主催のシンポジウム／セミナー／ワークショップ等への参加数：75回
（ROLES メンバーによる参加回数も併せて集計）

【情報発信】

- ・インタビューや報道発表の実施数：380回（ROLES メンバーによるもののみ集計／ROLES で実施している他の事業と合計）

- ・論文やコメントリーの発出数：9回
- ・政策提言を含む報告書の発出数：2回
- ・学術誌の発行：1回
- ・動画公開：0回

URL については3-1「イベントのメディア掲載」「ROLES ウェブサイトを通じた発信」に記載済み。

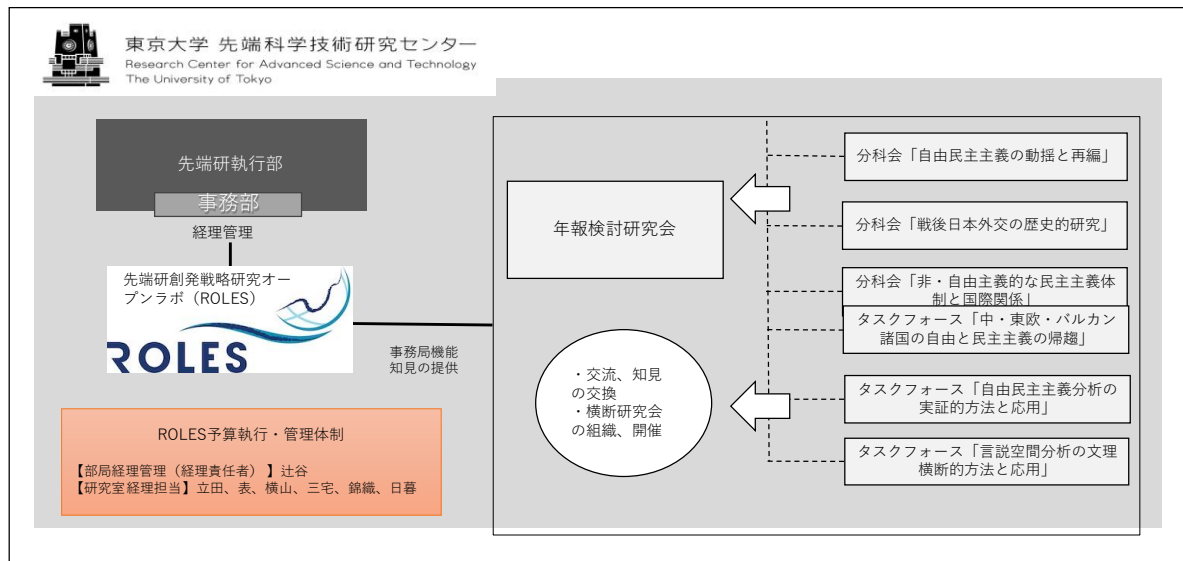
※ 主要なものにつき、審査委員や政府関係者などが閲覧できるよう URL（未発表のものは概要）を記載。また、上記以外の情報発信（メールマガジン配信、ウェビナー動画の発信など、独自に実施している情報発信）も該当があれば記載すること。

4-1 事業実施体制

1 組織図（自由書式）

※ 複数の分科会／研究会が設けられている場合は、それらが有機的に連携するためにどのような体制が取られているか明示すること。

※ 予算の執行・管理体制を明示すること。



組織図

2 メンバー詳細

事業総括、グループライダー、研究担当、渉外担当、経理担当等の別	氏名	所属機関・部局・職	役割
事務局（創発戦略研究オープンラボ（ROLES））			
事業総括	池内恵	東京大学・先端科学技術研究センター教授	・ 事業全体の企画と運営の総括
事業副総括・広報担当	小泉悠	東京大学・先端科学技術研究センター専任講師	・ 実施機関法人の部局間調整担当、研究成果の対外発信
事業副総括・年報検討研究会座長	坂元一哉	大阪大学名誉教授（ROLES 顧問）	・ 事業全体の調査・研究内容に関する方向性の取りまとめ、発信等

事業副総括・国際発信・ 国際渉外担当	山口亮	東京大学・先端科学 技術研究センター・ 特任助教	・ ヒアリング先と の交渉、連絡、 国際対外発信等
渉外担当	伊藤和歌子	東京大学・先端科学 技術研究センター・ シニアプログラム・ コーディネーター	関係省庁との連絡調 整 ・
連絡調整担当	立田由紀恵	東京大学・先端科学 技術研究センター・ 特任研究員	・ 研究会メンバー との連絡調整お よび経理
広報担当	鍛冶一郎	東京大学・先端科学 技術研究センター・ 特任研究員	・ 研究成果の対外 発信
広報担当	田中周	東京大学・先端科学 技術研究センター・ 特任研究員	・ 研究成果の対外 発信
連絡調整担当	狩野希望	東京大学・先端科学 技術研究センター・ 協力研究員	・ 研究会メンバー との連絡調整お よび事務
連絡調整担当	豊田耕平	独立行政法人エネル ギー・金属鉱物資源 機構調査部調査課／ 東京大学先端科学技 術研究センター連携 研究員	・ 研究会メンバー との連絡調整お よび事務
連絡調整	西山美久	東京大学先端科学技 術研究センター特任 助教	・ 事業メンバー・ 学内との連絡・ 調整
連絡調整	田中祐真	東京大学先端科学技 術研究センター特任 研究員	・ 事業メンバー・ 学内との連絡・ 調整
連絡調整	早丸一真	東京大学先端科学技 術研究センター特任 助教	・ 庶務の管理及び インターン生統 括
分科会「自由民主主義の動揺と再編」			
分科会座長	坂元一哉	大阪大学名誉教授 (兼・ROLES 顧問)	・ 分科会のとりま とめ、各分科会 の調査研究に関

			する方向性の取りまとめ ・ 2024 年の米国大統領選挙を中心に米国の政治・外交のあり方の調査・研究、発信等
分科会座長代理・研究担当	村田晃嗣	同志社大学法学部教授	・ 座長を補佐しながら分科会のとりまとめ ・ 2024 年の米国大統領選挙を中心に米国の政治・外交のあり方の調査・研究、発信等
分科会幹事・研究担当	池内恵	東京大学先端科学技術研究センター教授	・ 座長を補佐しながら分科会の準備のとりまとめ ・ 米国とイスラーム世界の関係に関する調査・研究、発信等
研究担当	合六強	二松學舎大学国際政治経済学部准教授	・ ウクライナ戦争などで揺らぐ欧州の状況に関する調査・研究、発信等
研究担当	高橋慶吉	大阪大学大学院法学研究科教授	・ 2024 年の米国大統領選挙を中心に米国の政治・外交のあり方の調査・研究、発信等
研究担当	小島吉之	帝塚山大学非常勤講師	・ 日米など既存秩序諸国のインテリジェンス体制についての調査・研究、発信等
研究担当	杉田弘毅	共同通信特別編集委員	・ 2024 年の米国大統領選挙を中心に米国の政治・外交のあり方の

			調査・研究、発信等
研究担当	鶴岡路人	慶應義塾大学総合政策学部准教授	・ ウクライナ戦争などで揺らぐ欧州の状況に関する調査・研究、発信等
分科会幹事・研究担当	鍛冶一郎	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	・ 歴史的観点から見た日本の政治・外交のあり方、同盟国・同志国との連携に関する調査・研究、発信等
研究担当	瀧井一博	国際日本文化研究センター教授	・ 歴史的観点から見た日本の政治・外交のあり方、同盟国・同志国との連携に関する調査・研究、発信等
研究担当	待鳥聡史	京都大学大学院法学研究科教授	・ 2024 年の米国大統領選挙を中心に米国の政治・外交のあり方の調査・研究、発信等
研究担当	小谷哲男	明海大学外国語学部教授	・ 米国の安全保障に関する調査・研究、発信等
研究担当	阿部亮子	同志社大学法学部助教	・ 米国の安全保障政策のあり方、とくに軍事体制についての調査・研究、発信等
研究担当	石本凌也	同志社大学大学院法学研究科博士課程/サントリー文化財団鳥井フェロー	・ 2024 年の米国大統領選挙を中心に米国の政治・外交のあり方の調査・研究、発信等

研究担当	松本佐保	日本大学国際関係学部教授	2024 年の米国大統領選挙を中心に米国の宗教のあり方の調査・研究、発信等
分科会「戦後日本外交の歴史的研究」			
研究分科会座長	中島琢磨	九州大学大学院法学研究院准教授	- 分科会のとりまとめ、各分科会の調査研究に関する方向性の取りまとめ - 戦後日本外交、日米同盟（日米安保体制）に関する歴史的知見の収集、整理および調査・研究、発信等
研究分科会幹事	鍛冶一郎	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	戦後日本外交、日米同盟（日米安保体制）に関する歴史的知見の収集、整理および調査・研究、発信等
研究担当	池宮城陽子	日本学術振興会特別研究員（東京工業大学）	戦後日本外交、日米同盟（日米安保体制）に関する歴史的知見の収集、整理および調査・研究、発信等
研究担当	藤田吾郎	早稲田大学政治経済学術院講師	戦後日本外交、日米同盟（日米安保体制）に関する歴史的知見の収集、整理および調査・研究、発信等
研究担当	濱砂孝弘	早稲田大学社会科学総合学術院助教	戦後日本外交、日米同盟（日米安保体制）に関する歴史的知見の収集、整理お

			よび調査・研究、発信等
研究担当	真栄城拓也	大阪大学 CO デザイン センター特任助教	・ 戦後日本外交、 日米同盟（日米 安保体制）に関 する歴史的知見 の収集、整理お よび調査・研 究、発信等
研究担当	西村真彦	国際日本文化研究セ ンター機関研究員	・ 戦後日本外交、 日米同盟（日米 安保体制）に関 する歴史的知見 の収集、整理お よび調査・研 究、発信等
分科会「非・自由主義的な民主主義の体制と国際関係」			
分科会座長	大庭三枝	神奈川大学法学部教 授	・ 分科会のとりま とめ、各分科会 の調査研究に関 する方向性の取 りまとめ ・ 非・自由主義諸 国のうちインド 太平洋地域（と くに東南アジ ア）に関する調 査・研究、発信 等
分科会幹事・研究担当	池内恵	東京大学先端科学技 術研究センター教授	・ 非・自由主義諸 国のうち中東・ イスラーム世界 に関する調査・ 研究、発信等
分科会幹事・研究担当	鍛冶一郎	東京大学先端科学技 術研究センター特任 研究員	・ 日本外交の観点 からの非・自由 民主主義諸国に 関する調査・研 究、発信等
研究担当	竹中治堅	政策研究大学院大学 教授	・ 民主主義体制に 関する調査・研 究、発信等 ・ 海外の民主主義 研究者との連携

タスクフォース「中・東欧・バルカン諸国の自由民主主義の帰趨」			
タスクフォース座長	東野篤子	筑波大学人文社会系教授	・ タスクフォースのとりまとめ、各分科会の調査研究に関する方向性のとりまとめ ・ 中・東欧・バルカン諸国のうち、とくにウクライナの国内政治状況や対外政策に関する調査・研究、発信等
研究担当	小森宏美	早稲田大学教育・総合科学学術院教授	・ 旧ソ連、バルト諸国に関する調査・研究、発信等
研究担当	山本直	日本大学法学部教授	・ ハンガリーや東欧諸国に関する調査・研究、発信等
研究担当	合六強	二松學舎大学国際政治経済学部准教授	・ 欧州やウクライナの安全保障に関する調査・研究、発信等
研究担当	保坂三四郎	エストニア国際防衛安全保障センター研究員	・ ロシアやバルト三国に関する調査・研究、発信等
研究担当	西山美久	東京大学先端科学技術研究センター特任助教	・ ロシアに関する調査・研究、発信等
研究担当	国末憲人	朝日新聞論説委員	・ 欧州情勢に関する調査・研究、発信等
研究担当	田中祐真	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	・ ウクライナに関する調査・研究、発信等
幹事	篠木菜月	ケント大学ブリュッセル校国際関係研究科修士課程	・ 欧州に関する調査・研究、発信等

研究担当	服部倫卓	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授	ロシアと中・東欧・バルカン諸国に関する調査・研究、発信等
研究担当	中井遼	北九州市立大学法学部准教授	中・東欧・バルカン諸国のうち、とくに同地域の民主主義の状況に関する調査・研究、発信等
タスクフォース「自由・民主主義分析の実証的方法と応用」			
タスクフォース座長	待鳥聡史	京都大学大学院法学研究科教授	- タスクフォースのとりまとめ、各分科会の調査研究に関する方向性のとりまとめ - 実証政治学の観点から民主主義の制度を分析、調査・研究、発信等
研究担当	大村華子	関西学院大学総合政策学部教授	計量政治分析から民主主義の制度を調査・研究、発信等
研究担当	大村啓喬	滋賀大学経済学部准教授	「旗下集結効果」などの危機時の有権者の行動に関する調査・研究、発信等
研究担当	彦谷貴子	学習院大学国際センター教授	政軍関係や外交・安全保障政策の観点からの民主主義制度の調査・研究、発信等
研究担当	竹中治堅	政策研究大学院大学教授	実証政治学の観点から民主主義の制度、とくに官邸機能をはじめとした中央政府を分析、調

			査・研究、発信等
研究担当	山田真裕	関西学院大学法学部 教授	・ 実証政治学の観点から民主主義の制度、とくに選挙行動を分析、調査・研究、発信等
研究担当	外山文子	筑波大学人文社会系 准教授	・ 実証政治学の観点からタイをはじめとした東南アジア諸国における民主主義を分析、調査・研究、発信等
タスクフォース「言説空間分析の文理横断的方法と応用」			
タスクフォース座長	小泉悠	東京大学先端科学技術研究センター准教授	・ タスクフォースのとりまとめ、各分科会の調査研究に関する方向性のとりまとめ ・ 言説空間の分析のうち、とくに認知領域・情報安全保障に関する調査・研究、発信等
研究担当	栞原響子	日本国際問題研究所 研究員	・ 言説空間の分析のうち、とくに認知領域・情報安全保障に関する調査・研究、発信等
研究担当	合六強	二松学舎大学国際政治経済学部准教授	・ 安全保障面からの言説空間の分析に関する調査・研究、発信等
研究担当	村野将	ハドソン研究所研究員	・ 安全保障面からの言説空間の分析に関する調査・研究、発信等

研究担当	山口亮	東京大学先端科学技術研究センター特任助教	・ 安全保障面からの言説空間の分析に関する調査・研究、発信等
研究担当	鈴木一人	東京大学公共政策大学院教授	・ 経済安全保障面からの言説空間の分析に関する調査・研究、発信等
研究担当	中井遼	北九州市立大学政策科学科准教授	・ 世論調査研究の観点からの言説空間の分析に関する調査・研究、発信等
研究担当	中井治郎	文教大学国際学部専任講師	・ 観光や地域社会の観点からの言説空間の分析に関する調査・研究、発信等
研究担当	松本充豊	京都女子大学現代社会学部教授	・ 台湾の民主主義に関する調査・研究、発信等
研究担当	池田有紀美	国連軍縮部政務官補	・ 科学技術の観点からの言説空間の分析に関する調査・研究、発信等
研究担当	佐橋亮	東京大学東洋文化研究所准教授	・ インド太平洋の安全保障の観点からの言説空間の分析に関する調査・研究、発信等
研究担当	飯塚恵子	読売新聞編集委員	・ 情報操作と民主主義に関する調査・研究、発信等
研究担当	高森雅和	株式会社 Dafna 代表取締役社長	・ 最先端テクノロジーを用いたSNS 分析等に関する調査・研究、発信等

研究担当	小宮山功一朗	慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員	・ サイバー安全保障に関する調査・研究、発信等
幹事	田中祐真	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	・ ウクライナに関する言説空間の分析に関する調査・研究、発信等
幹事	鍛冶一郎	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	・ 日本外交に関する言説空間の分析に関する調査・研究、発信等
サブユニット「世論調査プロジェクト」			
ユニット長	合六強	二松學舎大学国際政治経済学部准教授	・ 欧州安全保障の観点からの世論調査の実施・分析
幹事	小泉悠	東京大学先端科学技術研究センター専任講師	・ 新領域安全保障やロシアの軍事安全保障の知見を活かしての世論調査の実施・分析
幹事	鍛冶一郎	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	・ 日本外交、日米同盟の観点からの世論調査の実施・分析
研究担当	飯田健	同志社大学法学部教授	・ 世論調査研究の知見を活かしての実施・分析
研究担当	中井遼	北九州市立大学政策科学科准教授	・ 欧州における世論調査研究の知見を活かしての世論調査の実施・分析